NOKIA
6101

日本語取扱説明書

Japanese User's Guide

Nokia の携帯電話へようこそ

カメラのレンズ

サブディスプレイ

ソフト(選択)キー
- すぐ上に文字で表示された機能を実行します。
- 通話中に右ソフトキーを押すと、ハンズフリースピーカーを使用できます。

音量キー
- 受話口、スピーカー、または(携帯電話に接続した)ハンドセットの音量を調整します。

通話キー
- 電話をかけたり、かかってきた電話に応答します。
- ブラウザでウェブを閲覧中に押すと、選択機能のショートカットキーとして使えます。
- 待受モードの場合に押すと、前回かけた電話番号が表示されます。

留守番電話サービスキー
- 留守番電話サービス番号が携帯電話に登録されていれば、このキーを長く押すと留守番電話サービス(ネットワークサービス)を起動できます。

インターネットキー
- 0 を長く押すと、モバイルサービスに接続できます。

受話口

カメラのシャッターキー
- カメラモードで押すと、写真を撮ったり、オーディオビデオクリップを記録できます。

プッシュトゥートーク
- カメラが使用中でないときに押すと、プッシュトゥートークを起動できます(プッシュトゥートークが使用可能な場合に限ります)。

赤外線通信インタフェース

終了キー/電源キー
- 長く押して電源を入れたり、切ったりします。
- 通話を終了したり、応答を拒否したりします。また、使用中の機能を終了して、待受モードに戻る場合に押します。

4 方向ナビゲーションキー/決定キー

名前、電話番号、メニュー、設定を選択するのに使用します。また、文章の編集時、カーソルを移動したり、ハイライトするのに使用します。

決定キーを短く押すと、画面上に表示されている機能を選択できます。

便利な使い方: 待受モードでナビゲーションキーを押すと、以下の機能をすぐに使用できます。
- 左方向:メッセージを入力
- 右方向:カレンダーを表示
- 下方向:電話帳を表示
- 上方向:カメラを起動

上記の画面は標準設定されているものではありません。

適合宣言
NOKIA CORPORATION は、本製品「RM-76」が Directive 1999/5/EC の必須要件および関連するその他の規定に準拠することを本書によって宣言します。適合宣言書のコピーは、http://www.nokia.com/phones/declaration_of_conformity/ にあります。

CE434

交差した線が引いてある車輪付きのごみ箱マークは、欧州連合では製品の寿命が尽きたときに分別回収されることを意味しています。これは本製品だけでなく、このマークが付いているどのアクセサリ製品にも適用されます。これらの製品を自治体の無分別廃棄物として廃棄しないでください。詳細については、製品のエコ宣言、または www.nokia.com から各国固有の情報を参照してください。

Nokia、Nokia Connecting People、Pop-Port、Visual Radio は、Nokia Corporation の商標または登録商標です。Nokia tune は Nokia Corporation の商標です。本書に記載されている製品名、社名は、各所有者の商標、または商標名です。

本機は米国特許 No 5818437 を取得しており、また、その他の特許は出願中です。T9 テキスト入力ソフトウェアの著作権 © は Tegic Communications, Inc. が所有しています。（1997-2006 年）

本機は RSA BSAFE 暗号、または RSA Security のセキュリティプロトコルソフトウェアを使用しています。

Java™ およびすべての Java ベースの商標は、Sun Microsystems,Inc. の商標または登録商標です。

This product is licensed under the MPEG-4 Visual Patent Portfolio License (i) for personal and noncommercial use in connection with information which has been encoded in compliance with the MPEG-4 Visual Standard by a consumer engaged in a personal and noncommercial activity and (ii) for use in connection with MPEG-4 video provided by a licensed video provider. No license is granted or shall be implied for any other use. Additional information, including that related to promotional, internal, and commercial uses, may be obtained from MPEG LA, LLC. See <http://www.mpegla.com>.

本製品は、次の目的に関して、MPEG-4 Visual Patent Portfolio License に基づくライセンス許可を得ています。(i) 消費者が個人的および非営利的活動において MPEG-4 Visual Standard に準拠して情報をエンコードする場合、それに関連する個人的および非営利的使用。(ii) ライセンス許可を得たビデオプロバイダによって提供された MPEG-4 ビデオに関連する使用。前述以外の使用のためには、黙示的なものも含め、いかなるライセンスも許諾されていません。宣伝、内部的、商業的な使用に関係する追加情報は、MPEG LA. LLC から入手できます。<http://www.mpegla.com> を参照してください。

Nokia は製品の改良を継続的に行っています。そのため、本書に記載された全ての製品の仕様は、事前の通知なしに変更または改良されることがあります。

適用法の許容する限り、状況の如何を問わず、Nokia またはそのいずれのライセンサーも、データまたは収益の喪失、またはいかなる特別損害、付随損害、派生損害、間接損害に対しても一切責任を負いません。

本書は、現状有姿のまま提供されるものです。準拠法により要求される場合を除き、Nokia は、本書の正確性、信用性に関連するいかなる明示的または黙示的保証も行いません。この保証には、商品性、および特定目的に対する適合性の黙示的な保証を含みますが、これに限定されません。Nokia は、事前の通知なく本書を変更する権利または取り消す権利を有します。

使用可能な製品およびこれらの製品向けのアプリケーションは、地域によって異なる場合があります。詳細および使用可能な言語オプションについては、最寄りの Nokia 代理店にお問い合わせください。

輸出規制

本機には、米国および他の国の輸出関連法令の適用対象となる商品、技術、またはソフトウェアが含まれています。法令に違反する輸出は禁じられています。

第1版（英：9239067）

目次

7. 連絡先...............................29

8. 発着信履歴 35

9. 設定 36

安全上のご注意

次のガイドラインをお読みください。ここに記載されている注意事項をお守りいただくことで、危険な状態が生じる可能性や違法行為を未然に防ぐことができます。また、本書では更に詳しい説明も記載しています。

安全を確認して電源をお入れください

携帯電話の使用が禁止されている場合や、電波干渉、または危険な状態を引き起こす可能性がある場合は、電話機の電源を入れないでください。

交通安全を最優先に

ご使用になる地域のすべての法令に従ってください。運転中は、携帯電話を手に持たないでください。運転中は安全第一を心がけてください。

電波干渉

携帯電話は電波干渉に敏感で、電波干渉を受けると動作に影響が及ぶ場合があります。

病院では電源をお切りください

規則に従い、医療機器の近くでは電話機の電源をお切りください。

航空機内では電源をお切りください

規則に従い、航空機内では電話機の電源をお切りください。無線機器の使用は、機内で何らかの電波干渉を引き起こすことがあります。

給油時には電源をお切りください

ガソリンスタンドなど、燃料や化学薬品の近くでは携帯電話を使用しないでください。

爆発現場付近では携帯電話を使用しないでください

規則に従い、爆発処理が行われている現場では携帯電話を使用しないでください。

正しくご使用ください

製品に付属の取扱説明書に従い、電話機を通常の位置で使用し、不必要にアンテナ部分に触れないでください。

正規サービス

資格のあるサービススタッフ以外は、装置の取り付けや修理を行わないでください。

アクセサリと電池
指定のアクセサリや電池を使用してください。また、本機に対応していない機器を接続しないでください。

水をかけないでください
本機は防水仕様ではありません。水気のあるところで使用しないでください。

データのバックアップ
本機に保存した重要なデータは、すべてバックアップ、またはメモを取るようにしてください。

他の機器への接続
本機を他の機器へ接続する場合、その製品に付属の取扱説明書に記載された安全上の注意をお読みください。また、本機に対応していない機器を接続しないでください。

緊急通報
本機の電源が入っており、サービスエリア内であることを確認します。終了キーを必要なだけ押して通話中の電話を終了する、または使用中のメニューを終了し、待受画面に戻します。
緊急通報の電話番号を入力し、通話キーを押します。電話がつながったら現在地を知らせて、指示があるまでは電話を切らないでください。

■ 本機について

本機は、EGSM 900/1800/1900 ネットワーク上での利用が認められています。これらのネットワークについての詳細は、ご契約されているサービスプロバイダにご確認ください。

本機を、すべての法律に従って正しくご使用ください。また、他人のプライバシーや正当な権利を尊重し、適切なご使用を心がけてください。

著作権の保護のため、一部の画像や音楽（着信音を含む）、およびその他のコンテンツのコピー、変更、譲渡、伝送はできないことがあります。

警告：アラーム以外の本機のあらゆる機能を使うためには、電源を入れる必要があります。電波干渉や危険な事態を引き起こす可能性がある場合は、本機の電源を入れないでください。

■ネットワークサービス

本機を利用するにあたって、サービスプロバイダのサービスが必要となります。本機の機能のほとんどがネットワーク側の機能に依存しています。これらのネットワークサービスは、すべてのネットワークで利用できるとは限りません。また、ネットワークサービスをご利用になる前に、ご契約されているサービスプロバイダのサービスに加入するなどの手続きが必要になる場合があります。ご契約されているサービスプロバイダから、サービスをご利用する際の追加の指示や、課金についての説明が必要になる場合があります。一部のネットワークでは、ネットワークサービスの利用に制限がある場合があります。ネットワークによっては、各言語特有の文字やサービスをすべてサポートできない場合があります。

ご契約されているサービスプロバイダが、本機の一部の機能を停止、または無効にしている場合があります。その場合は、それらの機能が本機のメニューに表示されません。また本機は、メニュー名、メニューの順序、およびアイコンの変更など、特別な設定が行われている可能性があります。詳細については、ご契約されているサービスプロバイダにお問い合わせください。

本機は、TCP/IP プロトコルを基盤とした WAP 2.0 プロトコル（HTTP と SSL）に対応しています。本機の SMS、MMS、オーディオメッセージ、インスタントメッセージサービス、E-mail、プレゼンスサービス、モバイルインターネットサービス、コンテンツおよびアプリケーションのダウンロード、リモートインターネットサーバとの同期などの機能には、このような技術に対応したネットワークが必要になります。

■共有メモリ

本機では、次の機能でメモリが共有されます。連絡先、SMS、MMS（添付ファイルなし）、オーディオメッセージ、インスタントメッセージ、グループ、ボイスダイヤル、カレンダー、および、To-do ノート、「Gallery」に保存されるファイル、MMS の添付ファイル、E-mail、および Java™ アプリケーション。これらの機能を 1 つ以上使用すると、それ以外のメモリ共有機能で使用可能なメモリが減ることがあります。共有メモリ機能を使用しようとすると、メモリがいっぱいですというメッセージが表示されることがあります。この場合、共有メモリ機能に保存されている情報や項目をいくつか削除した後、作業を続けます。

■オプション

アクセサリやオプションについては次の点に注意してください。

- アクセサリやオプション類は小さなお子様の手の届くところに置かないでください。
- アクセサリやオプションの電源コードを外す際には、コードではなくプラグを持って抜いてください。
- オプションを自動車に取り付ける場合には、正しく取り付けられ、機能しているか定期的にチェックしてください。
- 複雑なオプションを自動車に取り付ける場合は、必ず有資格者に依頼してください。

はじめに

■ 多彩な機能

本機は、カレンダー、時計、アラーム、ラジオ、カメラなど、日常的に使用できるさまざまな機能を搭載しています。さらに、次のような機能があります。

- EDGE (Enhanced Data rates for GSM Evolution) - 「パケットデータ（EGPRS）」（P. 41）を参照してください。
- XHTML (Extensible Hypertext Markup Language) - 「ウェブ」（P. 66）を参照してください。
- オーディオメッセージ - 「Nokia Xpress オーディオメッセージ」（P. 19）を参照してください。
- インスタントメッセージ - 「インスタント メッセージ（IM）」（P. 19）を参照してください。
- E-mail アプリケーション - 「E-mail アプリケーション」（P. 24）を参照してください。
- プッシュトゥートーク - 「プッシュトゥートーク」（P. 59）を参照してください。
- プレゼンス情報 - 「マイプレゼンス」（P. 31）を参照してください。
- Java 2 Platform, Micro Edition (J2ME™) - 「アプリケーション」（P. 56）を参照してください。

■ アクセスコード

セキュリティコード

セキュリティコード（5 ～ 10 桁）は本機を不正使用から保護するためのものです。お買い上げの際には「12345」に設定されています。セキュリティコードを変更したり、セキュリティコードを入力するように設定するには、「セキュリティ」（P. 43）を参照してください。

PIN コード

PIN コード（Personal Identification Number）と UPIN コード（Universal Personal Identification Number）（4 ～ 8 桁）は、SIM カードの不正使用を防止するためのものです「セキュリティ」（P. 43）を参照してください。

一部の機能を利用する際に必要になる PIN 2 コード（4 ～ 8 桁）は、通常、SIM カードの購入時に提供されます。

モジュール PIN は、セキュリティモジュール内の情報を使用する際に必要です。「セキュリティモジュール」（P. 71）を参照してください。

署名 PIN は、デジタル署名を行う際に必要です。「デジタル署名」（P. 73）を参照してください。

PUK コード

ブロックされた PIN コードや UPIN コードを変更するには、PUK コード（personal unblocking key）や UPUK コード（universal personal unblocking key）（8 桁）がそれぞれ必要です。ブロックされた PIN 2 コードを変更するには、PUK 2 コード（8 桁）が必要です。これらのコードが SIM カードの購入時に提供されていない場合は、購入先のサービスプロバイダにお問い合わせください。

発着信規制パスワード

発着信規制パスワード（4 桁）は「*Call barring service*」を利用する際に必要です。「セキュリティ」（P. 43）を参照してください。

■ 設定サービス

モバイルインターネットサービスや、MMS、Nokia Xpress オーディオメッセージ、リモートのインターネットサーバとの同期化など、一部のネットワークサービスを利用するためには、本機を正しく設定する必要があります。このような設定値は、設定メッセージとして直接受信できる場合があります。設定値を受信する場合には、それらの値を本機に保存してください。ただし、設定値の保存に必要な PIN がサービスプロバイダから提供される場合があります。詳しくはご契約されている携帯電話事業者やサービスプロバイダまでお問い合わせいただくか、Nokia ウェブサイト <www.nokia-asia.com/support> のサポートに関する内容をご覧ください。

設定メッセージを受信すると「*Configuration settings received*」が表示されます。

受信した設定値を保存するには、[Show]、[Save] の順に選択します。「*Enter settings' PIN:*」が表示された場合は、設定値の PIN コードを入力し、[OK] を選択します。PIN コードの入手については、設定値を提供するサービスプロバイダにお問い合わせください。設定値を初めて保存する場合は、これらの設定値が保存され、デフォルトの値として設定されます。初めてでない場合は、「*Activate saved configuration settings?*」が表示されます。

受信した設定値を破棄する場合は、[Exit] を選択するか、[Show]、[Discard] の順に選択します。

設定値を編集する場合は、「構成の設定」（P. 42）を参照してください。

■ コンテンツとアプリケーションをダウンロードする

新しいコンテンツ（たとえば、テーマ）を本機にダウンロードできます（ネットワークサービス）。ダウンロードするには、ダウンロード機能（たとえば、「*Gallery*」メニュー）を選択します。ダウンロード機能の利用については、それぞれのメニューの説明を参照してください。提供されるサービスや、料金制度、料金表については、サービスプロバイダにお問い合わせください。

重要 : サービスにアクセスする際は、セキュリティやコンテンツが信頼性のあるものかどうか確認してください。

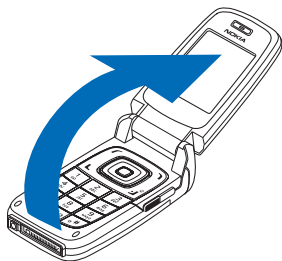
■ Nokia のサポートと連絡先情報

この取扱説明書の最新バージョンや追加情報、ダウンロード、お持ちの Nokia 製品に関連するサービスについては、www.nokia.com/support またはお住まいの国の Nokia Web サイトを確認してください。さらに、ご利用の携帯電話のモデルに適したサービス（MMS、GPRS、E-mail など）の設定値を www.nokia-asia.com/phonesettings からダウンロードできます。

その他のサポートについては、www.nokia.co.jp/contactus を参照してください。

1. お使いになる前に

■ 携帯電話を開く

本機を開くと、およそ155度の角度まで開きます。これ以上は開こうとしないでください。

■ SIMカードと電池パックを取り付ける

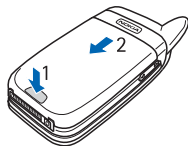
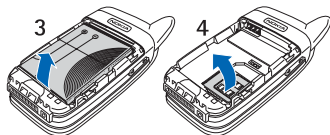
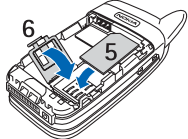
電池を取り外す際には、常に本機の電源を切り、充電器を外した状態で行ってください。

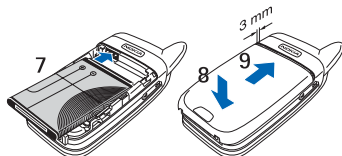
SIMカードは、小さなお子様の手の届くところに置かないでください。

SIMカードサービスのご利用に関する情報は、SIMカードの取扱業者までお問い合わせください。取扱業者にはサービスプロバイダなどがあります。

本機にはBL-4Cの電池パックを使用してください。

SIMカードをこすったり折り曲げると、カードや登録されている連絡先情報が破損することがありますので、カードの挿入や取り外しなど取り扱いに注意してください。

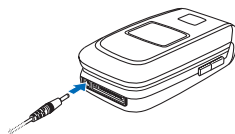
電話機のバックカバーを外すには、解除ボタン(1)を押して、バックカバーをスライドさせます(2)。

電池パックを取り外します（3）。SIMカードホルダーを開けます(4)。

SIMカードを挿入します（5）。SIMカードが正しく差し込まれ、カードのIC面が下を向いていることを確認します。SIM カードホルダーを閉じて（6）、カチッと音がするまで押します。

電池パックを戻します（7）。電池パックが正しく接触していることを確認してください。必ず、Nokia純正の電池パックをご使用ください。「電池パック」（P. 79）を参照してください。

バックカバーをスライドさせて元に戻します（8、9）。

■ 電池を充電する

警告：本機を使用する際には、Nokiaが認定した電池、充電器およびアクセサリのみを使用してください。これ以外の機器を使用すると、本機に対する認定あるいは保証の対象外となるだけでなく、事故などが起こる場合があります。

充電器をご使用になる前に、充電器の型番を確認します。本機は、AC-3、AC-4、DC-4 充電器に対応しています。また、CA-44 充電器アダプタ使用時は、AC-1、ACP-7、ACP-12、および LCH-12 充電器に対応しています。

認定アクセサリの在庫状況については、製品お買い上げ店までお問い合わせください。

1. 充電器を壁のコンセントに接続します。
2. 充電器のコネクタを本体底辺のソケットに接続します。

電池の残量がまったくない状態で充電すると、充電中であることを示すアイコンが表示されるまでに、または電話の発着信ができる状態になるまでに数分かかります。

充電時間は、使用する充電器と電池パックにより異なります。たとえば、待受モードの状態で AC-3 充電器を使って BL-4C 電池パックを充電すると、約 2 時間 12 分かかります。

■ 電源を入れる / 切る

警告: 携帯電話の使用が禁止されている場合や、電波干渉、または危険な状態を引き起こす可能性がある場合は、電話機の電源を入れないでください。

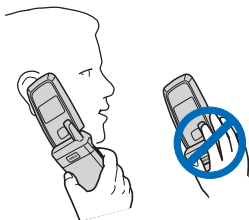
電源キーを長く押します。

PIN コードまたは UPIN コードの入力を要求された場合は、コードを入力し、「*OK*」を選択します（入力したコードは「****」で表示されます）。

プラグアンドプレイサービス

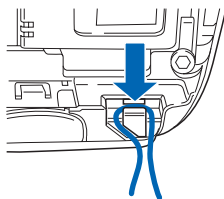
電話機の電源を最初に入れたとき、電話機は待受状態にあり、サービスプロバイダから設定をダウンロードすることを求めるメッセージが表示されます（ネットワークサービス）。ダウンロードするか、しないかを選択します。「*Connect to service provider support*」(P. 42)、および「設定サービス」(P. xiv) を参照してください。

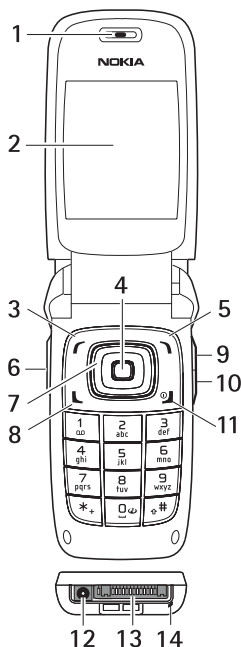
■ 通常の操作位置

本機を通常の操作位置以外でご使用にならないでください。

本機には外部アンテナがあります。

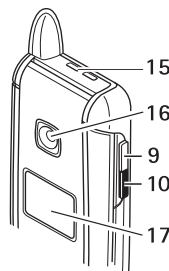
注意：他の無線伝送機器と同様、本機の電源が入っているときは不必要にアンテナに触れないでください。アンテナに触れると通話品質に影響を及ぼし、通常よりも多くの電力が消費される場合があります。本機の操作時にアンテナに接触しなければ、アンテナの性能と電池の寿命を最大限に高めることができます。

■ リストストラップ

バックカバーと電池パックを取り外します。図に示すように、ストラップを入れます。電池パックとバックカバーを元に戻します。

2. 各部の名称と機能

■ キーと各部の名称

- 受話口（1）
- メインディスプレイ（2）
- 左選択キー（3）
  決定キー（4）
  右選択キー（5）

これらのキーの機能は、画面に表示される文字によって異なります。

- 音量キー（6）
- 4 方向ナビゲーションキー（7）
  上下、左右にスクロール
- 通話キー（8）
- プッシュトゥートーク（PTT）キー、カメラのシャッターキー（9）
- 赤外線（IR）ポート（10）
- 終了キー / 電源キー（11）
- 充電器のコネクタ（12）
- Pop-Port™ コネクタ（13）

- マイク（14）
- スピーカー（15）
- カメラレンズ（16）
- サブディスプレイ（17）

■ 待受モード

本機が使用できる状態で、画面に文字や数字が何も入力されていない状態のことを待受モードといいます。

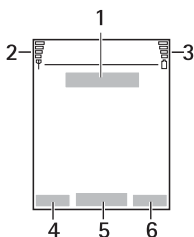
サブディスプレイ

本機を閉じると、サブディスプレイに次のものが表示されます。

- 現在の場所での電波の強さと電池の残量
- ネットワークの名前（動作中でない場合は、それを示す文字が表示される）
- 時刻と日付、アクティブなモード、アラームまたはカレンダーのアラートメッセージ

着信があると発信者の名前（電話帳に登録してある場合）、もしくは電話番号が表示されます。
（ネットワーク状況により表示できない場合もあります。）

メインディスプレイ

- ネットワーク名または通信事業者のロゴ（1）

- 現在の場所での電波の強さ（2）
- 電池の残量（3）
- 左選択キーは [Go to] です（4）。
- 決定キーは [Menu] です（5）。
- 右選択キーは [Names]（6）、または選択されている機能へのショートカットです。「マイショートカット」（P. 37）を参照してください。携帯電話事業者によっては、事業者固有のウェブサイトにアクセスする独自の名前を持っていることがあります。

個人用ショートカットリスト

左選択キーは [Go to] です。

個人用ショートカットリストにある機能を表示するには [Go to] を選択します。特定の機能を選択すると、その機能が有効になります。

使用可能な機能のリストを表示するには、[Go to]、[Options]、「*Select options*」の順に選択します。機能をショートカットリストに追加するには [Mark] を選択します。リストから機能を削除するには [Unmark] を選択します。

個人用ショートカットリストにある機能を並べ替えるには、[Go to]、[Options]、「*Organise*」の順に選択します。次に、並べ替える機能と [Move] を選択してから機能の移動先を選択します。

待受モードでのショートカット

- 以前にダイヤルした番号のリストを表示するには、通話キーを一度だけ押します。電話をかける番号または名前にスクロールして、通話キーを押します。
- ウェブブラウザを開くには「0」を長く押します。
- 留守番電話サービスに電話をかけるには、「1」を長く押します。留守番電話サービス番号が登録されていなければ登録してからご利用下さい。「留守番電話サービス」（P. 26）を参照してください。
- ナビゲーションキーをショートカットとして使用できます。「マイショートカット」（P. 37）を参照してください。

省電力画面

待受画面で何も操作せずに一定の時間が経過すると、電池を節約するためにデジタル時計が表示されます。省電力を有効にするには、「メインディスプレイ」（P. 37）の「*Power saver*」、および「サブディスプレイ」（P. 38）を参照してください。省電力を無効にするには、電話機を開けて、キーをどれか押します。

アイコン

文字や画像メッセージを受信したときに表示されます。「SMS メッセージを読む / 返信する」（P. 14）を参照してください。

マルチメディアメッセージを受信したときに表示されます。「MMS を読む / 返信する」（P. 16）を参照してください。

不在着信があったときに表示されます。「発着信履歴」（P. 35）を参照してください。

キーパッドがロックされています。「キーパッドロック（キーガード）」（P. 7）を参照してください。

「*Incoming call alert*」と「*Message alert tone*」が「*Off*」に設定されている場合、着信音や SMS の受信音は鳴りません。「音の設定」（P. 36）を参照してください。

アラームが「*On*」に設定されているときに表示されます。「アラーム」（P. 50）を参照してください。

G　パケットデータ接続モードの「*Always online*」が選択されており、パケットデータサービスが利用可能な場合に表示されます。「パケットデータ (EGPRS)」(P. 41) を参照してください。

G　パケットデータ接続が確立されています。「パケットデータ (EGPRS)」(P. 41) および「ページを閲覧する」(P. 67) を参照してください。

G　パケットデータ接続は保留状態です。たとえば、パケットデータのダイヤルアップ接続中に、着信通話や発信通話がある場合です。

赤外線接続がオンの間、アイコンが表示され続けます。

■ キーパッドロック (キーガード)

誤ってキー押ししてしまうのを防ぐには、[Menu] を選択し、約 3.5 秒以内に「*」を押してキーパッドをロックします。

キーパッドのロックを解除するには、[Unlock] を選択し、「*」を押します。「*Security keyguard*」が「*On*」に設定されている場合は、セキュリティコードを入力します (要求された場合)。

キーガードがオンの状態で電話に応答するには、通話キーを押します。通話が終わるか、通話を拒否すると、キーパッドは自動的にロックされます。

「*Automatic keyguard*」および「*Security keyguard*」については、「電話機の設定」(P. 39) を参照してください。

キーガードがオンになっている場合でも、本機にプログラムされている公的な緊急電話番号には通話が可能な場合があります。

3. 通話機能

■ 電話をかける

1. 電話番号を市外局番から入力します。

   国際電話をかける場合は「*」を2回押して国際電話の接頭番号を入力します（「+」記号が国際電話のアクセスコードです）。次に国番号、市外局番（必要に応じてはじめの「0」を省く）、電話番号の順に入力します。

2. 通話キーを押して、電話をかけます。
3. 通話を終了するか取り消すには、終了キーを押すか、電話機を閉じます。

登録してある名前で電話をかけるには、「*Contacts*」から名前または電話番号を探します。「連絡先を検索する」（P. 29）を参照してください。通話キーを押してその番号に電話をかけます。

待受画面で通話キーを1回押すと、以前にかけた（またはかけようとした）電話番号が最新のものから20件まで表示されます。電話をかける番号または名前を選択し、通話キーを押して電話をかけます。

ワンタッチダイヤル

ワンタッチダイヤルキーの「2」～「9」に電話番号を登録します。「ワンタッチダイヤル」（P. 34）を参照してください。次のいずれかの方法で電話をかけます。

- 電話番号を登録したワンタッチダイヤルキーを押して、通話キーを押します。
- 「*Speed dialling*」の設定が「*On*」になっている場合は、該当のワンタッチダイヤルキーを電話がかかるまで押し続けます。「発着信の設定」（P. 39）の「*Speed dialling*」を参照してください。

■ 電話に応答する / 応答を拒否する

電話に応答するには、通話キーを押すか、電話機を開きます。通話を終了するには、終了キーを押すか、電話機を閉じます。

着信を拒否するには、終了キーを押すか、電話機を閉じます。電話機が閉じているときに着信を拒否するには、電話機を開いて1.5秒以内に終了キーを押します。

着信音を消音にするには、音量キーの1つを押すか、「*Silence*」を選択します。

ヒント:着信した電話を転送するために「*Divert if busy*」機能が有効になっている場合（たとえば、留守番電話サービスセンターに転送する）、着信拒否も電話を転送します。「発着信の設定」（P. 38）を参照してください。

ヘッドセットが電話に接続されている場合、ヘッドセットキーを押すことにより、電話に応答したり、通話を終了することができます。

割込通話

通話中に別の電話がかかってきたら、通話キーを押して応答します。最初の通話は保留になります。通話中の電話を終了するには、終了キーを押します。

「*Call waiting*」機能を開始するには、「発着信の設定」(P. 38)を参照してください。

■ 通話中のオプション

通話中に使用できるオプションの多くはネットワークサービスです。サービスの有無については、携帯電話事業者またはサービスプロバイダにお問い合わせください。

通話中に [Options] を選択してから次のオプションを選択します。

通話オプションは、「*Mute*」または「*Unmute*」、「*Contacts*」、「*Menu*」、「*Record*」、「*Lock keypad*」、「*Audio enhancing*」、「*Loudspeaker*」、または「*Handset*」です。

ネットワークサービスオプションには、「*Answer*」および「*Reject*」、「*Hold*」、「*Unhold*」、「*New call*」、「*Add to conference*」、「*End call*」、「*End all calls*」のほか、次のものがあります。

「*Send DTMF*」- パスワードや銀行の口座番号などをプッシュトーンとして送信するときに選択します。

「*Swap*」- 通話中の電話と保留中の電話を切り替えます。

「*Transfer*」- 保留中の電話を通話中の電話に接続し、自分自身は電話を切ります。

「*Conference*」- 電話会議を行います。会議には最大 5 人が参加できます。

「*Private call*」- 電話会議の中で特定の参加者とだけ通話します。

警告：スピーカーを使用する際には、本機を耳に近づけないでください。

4. 文字を入力する

文字の入力方法には、「通常文字入力」と「予測文字入力」があります。通常文字入力を使用する場合は、必要な文字が現れるまで数字キー**1** ～ **9**を繰り返し押します。予測文字入力では1回のキー操作で文字を入力できます。

文字の入力時に予測文字入力を使用している場合は が、通常文字入力を使用している場合は がそれぞれ画面左上に表示されます。アイコンの後には、文字入力モードとして Abc、abc 、または ABC が表示されます。

文字入力モードを切り替えるには「**#**」を短く押します。文字入力方法を切り替えるには「**#**」を長く押し [*Dictionary on*] または [*Dictionary off*] を選択します。123 は数字モードを表します。文字モードを数字モードに切り替えるには「**#**」を長く押してから「*Number mode*」を選択します。

■ 設定

入力言語を設定するには、[Options]、「*Writing language*」の順に選択してから必要な言語を選択します。予測文字入力が使用できるのは、そこに表示される言語の場合だけです。

[Options]、「*Dictionary on*」の順に選択して予測文字入力を設定するか、「*Dictionary off*」を選択して通常文字入力を設定します。

■ 予測文字入力

予測文字入力では、本機に内蔵されている辞書を使用します。辞書には新しく単語を登録することができます。

1. 「**2**」から「**9**」のキーを使って単語の入力を開始します。1文字につき、該当するキーを1回だけ押してください。押すたびに単語が変化します。
2. 入力したい単語が表示されたら、それを確定するために、「**0**」を押してスペースを追加するか、ナビゲーションキーのどれかを押します。ナビゲーションキーを押すと、カーソルが移動します。

   単語が正しくない場合は、「*****」を繰り返し押すか、[Options] を押して「*Matches*」を選択します。入力したい単語が表示されたら確定します。

   単語の後に「?」が表示されている場合は、入力したい単語が辞書にないことを意味します。単語を辞書に登録するには、[Spell] を選択します。通常文字入力を使って単語を入力してから [Save] を選択します。
3. 次の単語を入力します。

複合語を入力する

単語の最初の部分を入力し、右方向のナビゲーションキーを押して単語を確定します。最後の部分を入力し単語を確定します。

■ 通常文字入力

必要な文字が入力されるまで数字キー**1** ～ **9**を繰り返し押します。数字キーには、そのキーで使用できるすべての文字が刻印されているとは限りません。使用できる文字は､入力言語により異なります。「設定」(P.10) を参照してください。

次に入力したい文字が同じキー上にある場合は、カーソルが表示されるまで待つか、ナビゲーションキーをどれか押してから文字を入力します。

ほとんどの一般的な句読点や特殊文字は「**1**」のキーより入力できます。

5. メニューの使い方

本機に搭載されているさまざまな機能は、メニュー別にまとめられています。

1. メニューを使用するには [Menu] を選択します。メニューの表示を変更する場合は、[Options] を押し、「*Main menu view*」、「*List*」または「*Grid*」の順に選択します。
2. メニューをスクロールして、サブメニューを選択します（たとえば、「*Settings*」）を選択します。
3. メニューにサブメニューが含まれている場合は、そこから目的のもの（たとえば、「*Call*」）を選択します。
4. 選択したメニューにさらにサブメニューが含まれている場合は、そこから目的のもの（たとえば、「*Anykey answer*」）を選択します。
5. 必要な設定を選択します。
6. 1 つ上のレベルのメニューに戻るには [Back] を選択します。メニューを終了するには [Exit] を選択します。

6. メッセージ

メッセージサービスを使用するには、そのサービスがネットワークやサービスプロバイダによってサポートされていなければなりません。

注意：本機は、メッセージが、本機から本機にプログラムされているメッセージセンターの電話番号に送信されたことを表示する場合がありますが、これはメッセージが指定した宛先で受信されたことを示すものではありません。メッセージングサービスの詳細については、ご利用のサービスプロバイダにお問い合わせください。

重要：メッセージを開くときは注意が必要です。メッセージには悪質なソフトウェアが含まれていたり、本機またはお使いのPCに障害が発生したりする可能性があります。

メッセージを受信し表示できる電話機は、本機と互換性のある機能をもつものに限られます。メッセージがどのように表示されるかは、受信側の電話機に依存します。

■ 文字メッセージ（SMS）

SMS（Short Message Service）では、いくつかの通常の文字メッセージからなる連結メッセージを送受信できます（ネットワークサービス）。メッセージには画像を含めることができます。

文字、画像、E-mailのメッセージを送信するためには、まずメッセージセンターの番号を保存する必要があります「メッセージの設定」（P. 26）を参照してください。

SMS E-mailサービスの有無やその契約については、ご契約されているサービスプロバイダにお問い合わせください。

本機は、送信時にメッセージの文字数制限を超えた場合に対応することができます。長いメッセージは、複数のメッセージに分割されて送信されます。ご利用のサービスプロバイダは、送信メッセージ数に応じて料金を請求することがあります。アクセント記号またはその他の記号を使用した文字や、他言語の文字によっては、文字数のカウントが通常より多く必要となるため、1件のメッセージで送信できる文字数が制限されます。

画面上部には、あと何文字入力できるかが表示されます。たとえば、10/2は、メッセージを2つに分割して送信する場合、あと10文字入力できることを示します。

SMS メッセージを作成して送信する

1. [Menu] を押し、「*Messages*」、「*Create message*」、「*Text message*」の順に選択します。
2. メッセージを入力します。「文字を入力する」(P. 10) を参照してください。メッセージに文字テンプレートや画像を挿入する場合は、「テンプレート」(P. 15) を参照してください。それぞれの画像メッセージは、いくつかの文字メッセージから構成されます。画像メッセージや連結メッセージを送信すると、文字メッセージよりも通信料 (もしくは利用料金) が高くなる可能性があります。
3. メッセージを送信するには、[Send] を選択して、「*Recently used*」、「*To phone number*」、「*To many*」、または「*To e-mail address*」のいずれかを選択します。あらかじめ設定したメッセージプロファイルを使用してメッセージを送信するには、「*Via sending profile*」を選択します。メッセージプロファイルについては、「文字メッセージと SMS E-mail」(P. 26) を参照してください。電話番号または E-mail アドレスを選択または入力するか、プロファイルを選択します。

SMS メッセージを読む / 返信する

SMS メッセージや SMS E-mail を受信すると、✉ が表示されます。✉ が点滅している場合は、メッセージメモリがいっぱいであることを意味します。新しいメッセージを受信する前に「*Inbox*」フォルダから不要なメッセージを削除してください。

1. 新しいメッセージをすぐに見る場合は [Show] を選択します。後で読む場合は [Exit] を選択します。

   後でメッセージを読むには、[Menu] を押し、「*Messages*」、「*Inbox*」の順に選択します。複数のメッセージが受信されている場合は、読みたいメッセージを選択してください。✉ は未読のメッセージを示します。
2. メッセージを開いている状態で [Options] を選択すれば、メッセージを削除したり転送することができます。あるいは、メッセージを文字メッセージまたは SMS E-mail として編集したり、そのメッセージの名前を変更したり、メッセージを別のフォルダに移動したりすることができます。また、メッセージの本文を見たり抽出したりすることもできます。さらに、メッセージのはじめの部分をカレンダーにコピーすれば、予定表として使用できます。画像メッセージを読んでいる間に画像を「*Templates*」フォルダに保存するには、「*Save picture*」を選択します。

3. メッセージとして返信するには、[Reply] を選択して、「*Text message*」、「*Multimedia msg.*」、「*Flash message*」、または「*Audio message*」のいずれかを選択します。返信メッセージを入力、もしくは録音（Audio message の場合）します。E-mail に返信する場合は、最初に E-mail のアドレスと件名を確認または編集してください。
4. 表示された番号にメッセージを送信するには、[Send]、[OK] の順に選択します。

テンプレート

本機には、文字テンプレート と画像テンプレート があります。これらのテンプレートは、文字や画像、SMS E-mail メッセージで使用できます。

テンプレートを表示するには、[Menu] を押し、「*Messages*」、「*Saved items*」、「*Text messages*」、「*Templates*」の順に選択します。

■ マルチメディアメッセージ（MMS）

マルチメディアメッセージには、文字、サウンド、画像、カレンダーノート、ビジネスカード、ビデオクリップなどを含むことができます。ただし、メッセージが長すぎると、受信できない場合があります。ネットワークによっては、マルチメディアメッセージを表示するためのインターネットアドレスを含む文字メッセージを使用できます。

通話中やゲーム中、別の Java アプリケーションの実行中、もしくは GSM データに対するブラウズセッションの最中には、マルチメディアメッセージを受信できません。マルチメディアメッセージの配信はさまざまな理由で失敗することがあるため、重要な通信の場合はこれだけに頼らないでください。

MMS を作成する / 送信する

マルチメディアメッセージの設定については、「マルチメディア」（P. 27）を参照してください。マルチメディアメッセージサービスの有無や契約については、ご契約されているサービスプロバイダにお問い合わせください。

1. [Menu] を押し、「*Messages*」、「*Create message*」、「*Multimedia msg.*」の順に選択します。
2. メッセージを入力します。「文字を入力する」（P. 10）を参照してください。

   ファイルを挿入するには、[Options]、「*Insert*」の順に選択します。次のオプションが表示されます。

   「*Image*」、「*Sound clip*」、または「*Video clip*」-「*Gallery*」からファイルを挿入します。

   「*New image*」で「*Camera*」を開く - メッセージに追加する新しい画像を撮ります。

   「*New sound clip*」で「*Recorder*」を開く - メッセージに追加する新しいレコードを作成します。

「*Business card*」または「*Calendar note*」- メッセージにビジネスカードまたはカレンダーノートを挿入します。

「*Slide*」- メッセージにスライドを挿入します。本機は、いくつかのページ（スライド）を含むマルチメディアメッセージをサポートします。スライドには、文字や、1つの画像、1つのカレンダーノート、1つのビジネスカード、1つのサウンドクリップを組み込むことができます。

さらに、そのほかのオプションとして、「*Delete*」（画像やスライド、サウンドクリップをメッセージから削除する）や、「*Clear text*」、「*Preview*」、「*Save message*」を使用できます。さらに、「*More options*」では、「*Insert contact*」、「*Insert number*」、「*Message details*」、および「*Edit subject*」を使用できます。

3. メッセージを送信するには、[Send] を押して、「*Recently used*」、「*To phone number*」、「*To e-mail address*」、または「*To many*」のいずれかを選択します。
4. 連絡先を表示されたリストから選択するか、受信者の電話番号または E-mail アドレスを入力するか、あるいは「*Contacts*」から検索します。次に [OK] を選択します。メッセージは送信用の「*Outbox*」フォルダに移動します。

マルチメディアメッセージの送信中は、アニメーションアイコン が表示されます。この間に他の機能を使用することもできます。何らかの理由で送信に失敗した場合は、メッセージの再送信が数回試みられます。それでも送信できない場合、送信は中止されます。ただし、メッセージが「*Outbox*」フォルダに残るので、後で送信を試みることができます。

「*Save sent messages*」、「*Yes*」の順に選択すると、送信済みメッセージが「*Sent items*」フォルダに保存されます。「マルチメディア」（P. 27）を参照してください。メッセージは送信されても、メッセージが本来の宛先に到着したことを示すわけではありません。

著作権の保護のため、一部の画像や音楽（着信音を含む）、およびその他のコンテンツのコピー、変更、譲渡、伝送はできないことがあります。

MMS を読む / 返信する

マルチメディアメッセージ（MMS）サービスのデフォルトの設定は、通常オンです。

重要: メッセージを開くときは注意が必要です。MMS のオブジェクトには悪質なソフトウェアが含まれていたり、本機またはお使いの PC に障害が発生したりする可能性があります。

マルチメディアメッセージを受信すると、アニメーション表示された が表示されます。メッセージがすでに受信されている場合は、 と「*Multimedia message received*」が表示されます。

1. メッセージをすぐに読む場合は [Show] を、後で読む場合は [Exit] を選択します。

   後でメッセージを読むには、[Menu] を押し、「*Messages*」、「*Inbox*」の順に選択します。メッセージリストの中で が付いているメッセージが未読メッセージです。表示したいメッセージを選択してください。

2. 決定キーの機能は、メッセージのどの添付が表示されているかによって異なります。

   受信したメッセージにプレゼンテーションやサウンドクリップ、ビデオクリップが含まれている場合、メッセージ全体を表示するには [Play] を選択します。

   画像を拡大するには、「Zoom」を選択します。ビジネスカードやカレンダーノートを表示したり、テーマオブジェクトを開くには、「Open」を選択します。

3. メッセージに返信するには、[Options]、「*Reply*」の順に選択して、「*Text message*」、「*Multimedia msg.*」、「*Flash message*」、または「*Audio message*」のいずれかを選択します。次に返信メッセージを入力し、[Send] を選択します。

   返信メッセージは、元のメッセージの送信者だけに送られます。

   使用できるオプションを表示するには、[Options] を選択します。

■ メモリの不足

新しい文字メッセージを受信したときにメッセージメモリがいっぱいだと が点滅し、「*Text messages memory full.Delete messages.*」が表示されます。[No] を選択し、フォルダから不要なメッセージを削除してください。受信したメッセージを破棄するには [Exit]、[Yes] の順に選択します。

新しいマルチメディアメッセージを受信したときにメッセージメモリがいっぱいの場合、 が点滅し、「*Multimedia memory full.View waiting message.*」が表示されます。このメッセージを表示するには [Show] を選択します。このメッセージを保存する場合は、不要なメッセージを削除してメモリの空き容量を増やす必要があります。メッセージを保存するには [Save] を選択します。

受信したメッセージを破棄するには [Exit]、[Yes] の順に選択します。[No] を選択すると、メッセージを表示することができます。

■ フォルダ

受信した文字メッセージおよびマルチメディアメッセージは「*Inbox*」フォルダに保存されます。

送信されなかったマルチメディアメッセージは「*Outbox*」フォルダに移されます。

「*Message settings*」、「*Text messages*」、「*Save sent messages*」、「*Yes*」の順に選択した場合や、「*Message settings*」、「*Multimedia msgs.*」、「*Save sent messages*」、「*Yes*」の順に選択した場合、送信済みメッセージは「*Sent items*」フォルダに保存されます。

入力中のテキストメッセージを「*Saved items*」フォルダに保存して後で送信したい場合は、「*Options*」、「*Save message*」、「*Saved text msgs.*」の順に選択します。マルチメディアメッセージの場合は、オプションの「*Save message*」を選択します。 は、未送信のメッセージを示します。

文字メッセージを整理するには、メッセージを「*My folders*」に移すか、メッセージ用のフォルダを新たに追加します。「*Messages*」、「*Saved items*」、「*Text messages*」、「*My folders*」の順に選択します。

フォルダを追加するには、[Options]、「*Add folder*」の順に選択します。フォルダを 1 つも保存していない場合は、[Add] を選択します。

フォルダを削除したり名前を変更するには、そのフォルダにスクロールして、[Options] を選択して、「*Delete folder*」または「*Rename folder*」を選択します。

■ フラッシュメッセージ

フラッシュメッセージは、受信と同時に表示される文字メッセージです。

フラッシュメッセージを作成する

[Menu] を押し、「*Messages*」、「*Create message*」、「*Flash message*」の順に選択します。メッセージを作成します。フラッシュメッセージの最大の長さは 70 文字です。点滅する文字をメッセージに挿入するには、オプションリストから「*Insert blink char.*」を選択して、マーカーを設定します。このマーカーから次のマーカーまでの文字が点滅します。

フラッシュメッセージを受信する

受信したフラッシュメッセージは、自動的には保存されません。メッセージを読むには [Read] を選択します。現在のメッセージから電話番号や E-mail アドレス、ウェブサイトアドレスを抽出するには、[Options]、「*Use detail*」の順に選択します。メッセージを保存するには [Save] を選択して、メッセージを保存するフォルダを選択します。

■ Nokia Xpress オーディオメッセージ

このメニューでは、マルチメディアメッセージサービスを使用して、簡単に留守番電話サービスメッセージを作成したり送信することができます。この機能を使用する前に、マルチメディアメッセージサービスを起動しておく必要があります。

オーディオメッセージを作成 / 送信する

1. [Menu] を押し、「*Messages*」、「*Create message*」、「*Audio message*」の順に選択します。レコーダーが開きます。レコーダーを使用するには、「レコーダー」（P. 49）を参照してください。
2. メッセージの送信準備ができたら、[Options]、「*Play*」の順に選択して、送信する前にメッセージを確認するか、「*Replace sound clip*」を選択して再度録音を行うか、「*Save message*」または「*Save sound clip*」を選択して録音した内容を「*Gallery*」に保存するか、「*Edit subject*」を選択してメッセージに件名を挿入するか、「*Message details*」を選択してメッセージの詳細を表示するか、「*Loudspeaker*」または「*Handset*」を選択します。
3. メッセージを送信するには、[Send] を押して、「*Recently used*」、「*To phone number*」、「*To e-mail address*」、または「*To many*」のいずれかを選択します。事業者によっては、さらにオプションが利用できます。
4. 電話帳から連絡先を選択するか、受信者の電話番号または E-mail アドレスを入力するか、あるいは「*Contacts*」から検索します。[OK] を選択すると、メッセージが送信用の「*Outbox*」フォルダに移動します。

オーディオメッセージを受信する

オーディオメッセージを受信すると、「*1 audio message received*」と表示されます。[Play] を選択してメッセージを開くか、複数のメッセージを受信した場合は [Show]、[Play] の順に選択します。使用できるオプションを表示するには、[Options] を選択します。後でメッセージを聴く場合は、[Exit] を選択します。

[Options]、[Save] の順に選択して、メッセージを保存するフォルダを選択します。

■ インスタント メッセージ（IM）

インスタントメッセージ機能（ネットワークサービス）は、短い簡単なメッセージをオンラインユーザに送信する方法の 1 つです。

インスタントメッセージを使用するには、このサービスに加入する必要があります。サービスの有無や料金、加入については、ご契約されている携帯電話事業者やサービスプロバイダにお問い合わせください。ユーザ ID やパスワード、設定値もサービスプロバイダから入手してください。

インスタントメッセージサービスに必要な設定については、「インスタントメッセージメニューを表示する」（P. 20）の「Connect. settings」を参照してください。画面のアイコンや文字は、使用するインスタントメッセージサービスによって異なります。

ネットワークによっては、インスタントメッセージの会話が電池の消耗を速めることがあります。その場合には、電話機を充電器に接続する必要があります。

インスタントメッセージメニューを表示する

オフラインの状態でメニューを使用するには、[Menu] を押し「Messages」、「Instant messages」の順に選択します。インスタントメッセージサービスに対する接続設定値のグループがいくつかある場合は、使用するグループを選択します。1 つしかない場合は、それが自動的に選択されます。

次のオプションが表示されます。

「Login」- インスタントメッセージサービスに接続します。

「Saved conversations」- インスタントメッセージセッションで保存したインスタントメッセージの会話を表示、消去、またはその名前を変更します。

「Connect. settings」- メッセージ機能やプレゼンス接続に必要な設定値を編集します。

インスタントメッセージサービスに接続する

インスタントメッセージサービスに接続するには、「Instant messages」メニューに入り、インスタントメッセージサービスを起動し、「Login」を選択します。インスタントメッセージサービスに正常に接続されると、「Logged in」が表示されます。

インスタントメッセージサービスとの接続を切るには、「Logout」を選択します。

インスタントメッセージセッションを開始する

「Instant messages」メニューを開き、サービスに接続します。サービスには次のものがあります。

- 「Conversations」を選択すると、アクティブなインスタントメッセージセッションで、インスタントメッセージ操作のための新規および既読のメッセージまたは招待のリストを表示できます。メッセージまたは招待のリストにスクロールして、[Open] を選択してメッセージを読みます。

は新規のグループメッセージを表し、は既読のグループメッセージを表します。また、は新規のインスタントメッセージを表し、は既読のインスタントメッセージを表します。

は招待を表します。

画面のアイコンや文字は、使用するインスタントメッセージサービスによって異なります。

- 「*IM contacts*」- 以前に追加した連絡先を表示します。チャットしたい連絡先にカーソルを移動し、[Chat] を選択します。ただし、新規の連絡先がリストにある場合は [Open] を選択します。連絡先を追加するには、「インスタントメッセージの連絡先」(P. 23) を参照してください。

  は、電話帳メモリでその連絡先がオフラインになっていることを示し、はオンラインになっていることを示します。また、はブロックされた連絡先を示し、は新規のメッセージを送信した先の連絡先を示します。
- 「*Groups*」、「*Public groups*」の順に選択して、携帯電話事業者やサービスプロバイダから提供された公開グループへのブックマークリストを表示します。特定のグループとのインスタントメッセージセッションを開始するには、そのグループにカーソルを移動し、[Join] を選択します。そして、この会話で使用するスクリーン名を入力します。グループ会話に参加できたらグループ会話を始めます。非公開グループを作成する場合は、「グループ」(P. 23) を参照してください。
- 「*Search*」を選択し、「*Users*」または「*Groups*」を選択して、このネットワーク上の他のインスタントメッセージユーザや公開グループを、電話番号、スクリーン名、E-mail アドレス、または名前で検索します。「*Groups*」を選択した場合は、グループ内のメンバー、グループ名、トピック、または ID を使用してグループを検索できます。

  会話相手のユーザまたはグループが見つかり、会話を開始するには、[Options] を押して、「*Chat*」または「*Join group*」を選択します。

  「*Contacts*」から会話を開始するには、「登録者名を表示する」(P. 32) を参照してください。

招待を受ける / 拒否する

待受画面で、インスタントメッセージサービスに接続された状態で新しい招待を受信すると、「*New invitation received*」が表示されます。それを読むには [Read] を選択します。複数の招待を受信している場合は、必要な招待にカーソルを移動し、[Open] を選択します。非公開グループの会話に参加するには [Accept] を選択し、スクリーン名を入力します。あるいは、招待を拒否または削除する場合は、[Options] を押し「*Reject*」または「*Delete*」を選択します。

受信したインスタントメッセージを読む

待受画面で、インスタントメッセージサービスに接続された状態で現在の会話以外のメッセージを受信すると、「*New instant message*」が表示されます。それを読むには [Read] を選択します。複数のメッセージを受信している場合は、表示するメッセージにスクロールして、[Open] を選択します。

現在の会話の間に受信した新しいメッセージは「*Instant messages*」にある「*Conversations*」に保持されます。「*IM contacts*」にない連絡先からメッセージを受信すると、送信者の ID が表示されます。電話メモリにない新しい連絡先を保存するには、[Options]、「*Save contact*」の順に選択します。

会話に参加する

インスタントメッセージセッションに参加したり、セッションを開始するには [Write] を選択します。次に、メッセージを作成し、「*Send*」を選択するか通話キーを押してメッセージを送信します。使用できるオプションを表示するには、[Options] を選択します。オプションには、「*View conversation*」、「*Save contact*」、「*Group members*」、「*Block contact*」、「*End conversation*」があります。

参加状態を編集する

1. 「*Instant messages*」メニューを開き、インスタントメッセージサービスに接続します。
2. 参加状態の情報やスクリーン名を表示または編集するには、「*My settings*」を選択します。
3. オンラインになった後に、ご自身をすべてのインスタントメッセージユーザに公開するには、「*Availability*」、「*Available for all*」の順に選択します。

   インスタントメッセージの電話帳にある連絡先だけに公開するには、「*Availability*」、「*Avail. for contacts*」の順に選択します。

   オフラインとするには、「*Availability*」、「*Appear offline*」の順に選択します。

インスタントメッセージサービスに接続されている場合、 はオンラインであることを、 はご自身が他の人から認識されていないことをそれぞれ表します。

インスタントメッセージの連絡先

インスタントメッセージの電話帳に連絡先を追加するには、インスタントメッセージサービスに接続し、「*IM contacts*」を選択します。電話帳に連絡先を 1 つだけ追加する場合は、[Options] を押して「*Add contact*」を選択します。連絡先が全く追加されていない場合は [Add] を選択します。次に、「*Enter ID manually*」、「*Search from serv.*」、「*Copy from server*」、または「*By mobile number*」を選択します。

特定の連絡先にスクロールして会話を開始するには、[Chat] または [Options] を押して、「*Contact info*」、「*Block contact*」または「*Unblock contact*」、「*Add contact*」、「*Remove contact*」、「*Change list*」、「*Copy to server*」、または「*Availability alerts*」を選択します。

メッセージをブロックする / ブロック解除する

メッセージをブロックするには、インスタントメッセージサービスに接続し、「*Conversations*」、「*IM contacts*」の順に選択するか、会話に参加または会話を開始します。着信メッセージをブロックする連絡先にスクロールして、[Options] を押し、「*Block contact*」、「*OK*」の順に選択します。

メッセージのブロックを解除するには、インスタントメッセージサービスに接続し、「*Blocked list*」を選択します。メッセージのブロックを解除する連絡先にスクロールして、「*Unblock*」を選択します。

グループ

インスタントメッセージによる会話を行う場合には、独自の非公開グループを作成することも、サービスプロバイダから提供された公開グループを使用することもできます。非公開グループは、インスタントメッセージによる会話が行われている間だけ存在します。そのグループは、サービスプロバイダのサーバに保存されます。ログオンしているサーバがグループサービスをサポートしていない場合は、グループ関連のすべてのメニューがグレー表示されます。

公開グループ

「*Groups*」- サービスプロバイダから提供される公開グループは、グループリストに入れることができます。公開グループに参加するには、インスタントメッセージサービスに接続し、「*Public groups*」を選択します。チャットしたいグループにスクロールして、[Join] を選択します。そのグループに初めて入る場合は、ご自身のニックネームとしてスクリーン名を入力します。グループリストからグループを削除するには、[Options]、「*Delete group*」の順に選択します。

グループを検索するには、「*Groups*」、「*Public groups*」、「*Search groups*」の順に選択します。グループを検索する際には、グループ内のメンバーや、グループ名、トピック、ID が使用できます。

非公開グループを作成する

インスタントメッセージサービスに接続し、「*Groups*」、「*Create group*」の順に選択します。グループ名と使用するスクリーン名を入力します。電話帳にある非公開グループの各メンバーにマークを付け、招待状を作成します。

■ E-mail アプリケーション

E-mail アプリケーションでは、会社や自宅の外から、互換性のある E-mail アカウントにアクセスできます。この E-mail アプリケーションは、SMS や MMS の E-mail 機能とは異なります。

本機は、POP3 と IMAP4 の E-mail サーバをサポートします。E-mail の送受信を行うには、あらかじめ次のことが必要です。

- 新しい E-mail アカウントを取得するか、既存のアカウントを使用します。自分用の E-mail アカウントがあるかどうかについては、ご契約されている E-mail サービスプロバイダにお問い合わせください。
- E-mail 用の設定については、ご契約されている E-mail サービスプロバイダにお問い合わせください。E-mail の設定値は、設定メッセージとして送られてくることがあります。「設定サービス」(P. xiv) を参照してください。設定は手作業で入力することもできます。「構成の設定」(P. 42) を参照してください。

  E-mail の設定値を有効にするには、[Menu] を押し「*Messages*」、「*Message settings*」、「*E-mail messages*」の順に選択します。「E-mail」(P. 28) を参照してください。

このアプリケーションはキーパッドトーンをサポートしていません。

E-mail を作成し送信する

1. [Menu] を押し「*Messages*」、「*E-mail*」、「*Create e-mail*」の順に選択します。
2. 送信先の E-mail アドレス、件名、および E-mail メッセージを入力します。

   E-mail にファイルを添付するには、[Options] を押して「*Attach*」を選択し、「*Gallery*」からファイルを選びます。
3. 「*Send*」、「*Send now*」の順に選択します。

E-mail をダウンロードする

1. E-mail アプリケーションを使用するには、[Menu] を押し「*Messages*」、「*E-mail*」の順に選択します。
2. E-mail アカウントに送信されてきた E-mail メッセージをダウンロードするには「*Retrieve*」を選択します。

新しい E-mail メッセージをダウンロードし、「*Outbox*」フォルダに保存されている E-mail を送信するには、[Options]、「*Retrieve and send*」の順に選択します。

E-mail アカウントに送信されてきた新しい E-mail メッセージの見出しを最初にダウンロードするには、[Options] を押して「*Check new e-mail*」を選択します。その後、選択した E-mail をダウンロードするには、そのメールをマークして、「*Options*」、「*Retrieve*」の順に選択します。

3. 「*Inbox*」にある新しいメッセージを選択します。後で読む場合は [Back] を選択します。
 ✉ は未読のメッセージを示します。

E-mail を読み返信する

重要: メッセージを開くときは注意が必要です。電子メールメッセージには悪質なソフトウェアが含まれていたり、本機またはお使いの PC に障害が発生したりする可能性があります。

[Menu] を押し「*Messages*」、「*E-mail*」、「*Inbox*」の順に選択してから、読みたいメッセージを選択します。メッセージを読んでいるときに [Options] を選択すれば、使用可能なオプションを表示できます。

E-mail に返信するには、[Reply]、「*Original text*」(または「*Empty screen*」)の順に選択します。多数の宛先に返信する場合は、[Options]、「*Reply to all*」の順に選択します。E-mail アドレスと件名を確認または編集してから返信文を入力します。メッセージを送信するには、[Send]、「*Send now*」の順に選択します。

受信ボックスとその他のフォルダ

E-mail アカウントからダウンロードした E-mail は「*Inbox*」フォルダに保存されます。「*Other folders*」には、作成中の E-mail を保存する「*Drafts*」、E-mail の整理と保存のための「*Archive*」、未送信の E-mail を保存する「*Outbox*」、および送信済みの E-mail を保存する「*Sent items*」フォルダが含まれています。

フォルダやフォルダ内の E-mail を管理するには、[Options] を押して「*Manage folder*」を選択します。

E-mail メッセージを削除する

[Menu] を押し「*Messages*」、「*E-mail*」、[Options]、「*Manage folder*」の順に選択して、該当するフォルダを選択します。削除するメッセージをマークします。マークしたメッセージを削除するには、[Options] を押し「*Delete*」を選択します。

ただし、本機から E-mail を削除しても、E-mail サーバから削除されるわけではありません。本機と E-mail サーバの両方から E-mail を削除するには、「*Menu*」、「*Messages*」、「*E-mail*」、[Options]、「*Extra settings*」、「*Leave copy:*」、「*Delete retr. msgs*」の順に選択します。

■ 留守番電話サービス

留守番電話サービスは、契約が必要なネットワークサービスです。詳細については、サービスプロバイダにお問い合わせください。

留守番電話サービスに電話するには、[Menu]、「*Messages*」、「*Voice messages*」、「*Listen to voice messages*」の順に選択します。留守番電話サービスセンターの番号を入力、検索、または変更するには「*Voice mailbox number*」を選択します。

ネットワークが対応している場合は、留守番電話サービスセンターに新しいメッセージが保存されると ꝏ が表示されます。留守番電話サービスセンターの番号に電話をかけてメッセージを聞くには、[Listen] を選択します。

■ 情報メッセージ

[Menu] を押し、「*Messages*」、「*Info messages*」の順に選択します。「*Info messages*」ネットワークサービスでは、サービスプロバイダからさまざまな情報をメッセージで受信できます。利用方法と配信情報については、サービスプロバイダにお問い合わせください。

■ サービスコマンド

[Menu] を押して「*Messages*」、「*Service commands*」の順に選択します。ネットワークサービス開始コマンドなどのサービス要求（USSD コマンドとも呼びます）を入力し、ご契約されているサービスプロバイダに送信します。

■ メッセージを削除する

特定のフォルダにあるすべてのメッセージを削除するには、[Menu] を押して、「*Messages*」、「*Delete messages*」の順に選択し、メッセージを削除するフォルダを選択します。「*Yes*」を選択します。フォルダに未読メッセージがある場合、未読メッセージも削除するかどうかをたずねる表示が出ます。「*Yes*」をもう 1 回選択します。

■ メッセージの設定

文字メッセージと SMS E-mail

メッセージの設定によって、メッセージの送受信や表示方法が変わります。

[Menu] を押して「*Messages*」、「*Message settings*」、「*Text messages*」の順に選択します。次のオプションが表示されます。

「*Sending profile*」- SIM カードが 1 つ以上のメッセージプロファイルセットに対応している場合は、変更するプロファイルセットを選択します。選択可能なオプションは次のとおりです。「*Message centre number*」(ご契約されているサービスプロバイダより提供されます)、「*Messages sent via*」、「*Message validity*」、「*Default recipient number*」(文字メッセージ)、または「*E-mail server*」(E-mail)、「*Delivery reports*」、「*Use packet data*」、「*Reply via same centre*」(ネットワークサービス)、および「*Rename sending profile*」。

「*Save sent messages*」、「*Yes*」の順に選択 - 送信した文字メッセージが「*Sent items*」フォルダに保存されます。

「*Automatic resending*」、「*On*」の順に選択 - メッセージの送信に失敗した場合に自動的に再送信を試みます。

マルチメディア

メッセージの設定によって、マルチメディアメッセージの送受信や表示方法が変わります。

[Menu] を押して「*Messages*」、「*Message settings*」、「 *Multimedia msgs*」の順に選択します。次のオプションが表示されます。

「*Save sent messages*」、「*Yes*」の順に選択 - 送信したマルチメディアメッセージが「*Sent items*」フォルダに保存されます。

「*Delivery reports*」 - 送信するメッセージの配信レポートをネットワークに要求できます(ネットワークサービス)。

「*Default slide timing*」- マルチメディアメッセージのスライドのデフォルト時間を設定します。

「*Allow multimedia reception*」を選択して「*Yes* 」または「*No*」を選択 - マルチメディアメッセージの受信を許可またはブロックします。「*In home network*」を選択した場合、ホームネットワーク外でマルチメディアメッセージを受信することはできません。

「*Incoming multimedia messages*」を選択し、「*Retrieve*」、「*Retrieve manually*」、または「*Reject*」を選択 - マルチメディアメッセージの受信を自動的に許可、確認メッセージの表示後に手動で許可、または、受信を拒否できます。

「*Configuration settings*」、「*Configuration*」の順に選択 - マルチメディアメッセージをサポートする設定のみが表示されます。サービスプロバイダを選択し、マルチメディアメッセージングに「*Default*」または「*Personal config.*」を選択します。「*Account*」を選択し、有効な設定に含まれるマルチメディアメッセージサービスのアカウントを選択します。

「*Allow adverts*」- 広告を受信または拒否できます。「*Allow multimedia reception*」が「*No*」に設定されている場合、この設定は表示されません。

E-mail

この設定によって、E-mail の送受信や表示方法が変わります。

E-mail アプリケーションの設定を設定メッセージとして受信することができます。「設定サービス」(P. xiv)を参照してください。設定は手作業で入力することもできます。「構成の設定」(P. 42)を参照してください。

E-mail アプリケーションの設定を有効にするには、[Menu] を押して「*Messages*」、「*Message settings*」、「*E-mail messages*」の順に選択します。次のオプションが表示されます。

「*Configuration*」- 有効にしたい設定のセットを選択します。

「*Account*」- サービスプロバイダから提供されたアカウントを選択します。

「*My name*」- 名前とニックネームを入力します。

「*E-mail address*」- メールアドレスを入力します。

「*Include signature*」- E-mail メッセージを作成するときに、メッセージの最後に自動的に追加される署名を設定できます。

「*Reply-to address*」- 返信の宛先に指定したいメールアドレスを入力します。

「*SMTP user name*」- 送信メールに使用する名前を入力します。

「*SMTP password*」- 送信メールに使用するパスワードを入力します。

「*Display terminal window*」-「*Yes*」を選択すると、インターネット接続のためのユーザ認証を手動で実行します。

「*Incoming server type*」- 使用する E-mail システムタイプに応じて、「*POP3*」または「*IMAP4*」を選択します。両方のタイプをサポートする場合は、「*IMAP4*」を選択します。

「*Incoming mail settings*」- POP3 または IMAP4 で使用可能なオプションを選択します。

その他の設定

メッセージのその他の設定を選択するには、[Menu] を押し「*Messages*」、「*Message settings*」、「*Other settings*」の順に選択します。メッセージを読むときや作成するときに使用するフォントサイズを変更するには、「*Font size*」を選択します。文字ベースの顔文字を絵文字で置き換えるには、「*Graphical smileys*」、「*Yes*」の順に選択します。

メッセージカウンタ

[Menu] を押して「*Messages*」、「*Message counter*」の順に選択すると、最近の通信についてほぼ正確な情報が表示されます。

7. 連絡先

名前や電話番号（*Contacts*）を本体のメモリと SIM カードのメモリに登録できます。

本機のメモリには電話番号とその他の情報を登録できます。また、特定の電話番号に画像を登録することもできます。

SIM カードに保存されている名前や電話番号は、 で表示されます。

■ 連絡先を検索する

[Menu] を押し「*Contacts*」、「*Names*」、[Options] 、「*Search*」の順に選択します。電話帳をスクロールするか、検索する名前の先頭文字を入力します。

■ 名前と電話番号を保存する

名前と電話番号は、使用中のメモリに保存されます。[Menu] を押して「*Contacts*」、「*Names*」、[Options]、「*Add new contact*」の順に選択します。名前と電話番号を入力します。

■ 電話番号、詳細情報、または画像を保存する

本機の連絡先のメモリには、複数の電話番号や短いテキストを名前と一緒に登録することができます。

最初に登録した電話番号は、自動的に基本番号に設定され、電話番号の種類のアイコン（例、）が枠で囲まれて表示されます。電話をかけるときなどに名前を選択すると、他の番号を選択しない限りは、基本番号が使用されます。

1. 使用しているメモリが「*Phone*」または「*Phone and SIM*」のいずれかであることを確認します。「設定」（P. 33）を参照してください。
2. 新しい番号やテキスト項目を追加する名前にスクロールして、[Details] を押して [Options]、「*Add detail*」の順に選択します。
3. 電話番号を追加するには、「*Number*」を選択し、電話番号の種類を選択します。

   他の詳細情報を追加するには、テキスト項目を選択するか、「*Gallery*」から画像を選びます。

   プレゼンスサービスに接続している場合に、サービスプロバイダのサーバから ID を検索するには、「*User ID*」、「*Search*」の順に選択します。「マイプレゼンス」（P. 31）を参照してください。ID が 1 つしか見つからない場合、その ID が自動的に保存されます。複数の ID が見つかった場合にその ID を保存するには、[Options] を押して「*Save*」を選択します。ID を入力するには、「*Enter ID manually*」を選択します。

電話番号の種類を変更するには、使用する番号にスクロールして、[Options] を押して「*Change type*」を選択します。選択した電話番号を基本番号に設定するには、「*Set as default*」を選択します。

4. 番号またはテキスト項目を入力し、[OK] を選択して保存します。
5. 待受モードに戻るには [Back]、[Exit] の順に選択します。

■ 連絡先をコピーする

コピーする連絡先を検索し、[Options]、「*Copy*」の順に選択します。本機の電話帳メモリにある名前や電話番号を SIM カードのメモリにコピーしたり、またはその逆にコピーすることができます。SIM カードのメモリには、名前とともに 1 つの電話番号を保存できます。

■ 連絡先の詳細情報を編集する

1. 編集する連絡先を検索して [Details] を選択し、使用する名前、電話番号、テキスト項目、または画像にスクロールします。
2. 名前、電話番号、またはテキスト項目を編集するには、[Options] を押し「*Edit name*」、「*Edit number*」、または「*Edit detail*」を選択し、画像を変更するには、「*Change image*」を選択します。

「*IM contacts*」または「*Subscribed names*」リストに含まれている ID は編集できません。

■ 連絡先や連絡先の詳細を削除する

すべての連絡先と連絡先に登録されている詳細情報を本機または SIM カードのメモリから削除するには、[Menu] を押して「*Contacts*」、「*Delete all contacts*」の順に選択します。次に「*From phone mem.*」または「*From SIM card*」を選択します。セキュリティコードを入力して、実行を確認します。

特定の連絡先を削除するには、削除する連絡先を検索して [Options] を押して「*Delete contact*」を選択します。

連絡先に登録されている電話番号、テキスト項目、または画像を削除するには、その連絡先を検索して、[Details] を選択します。削除する詳細情報にスクロールして、[Options] を押し「*Delete*」、「*Delete number*」の順に選択し、「*Delete detail*」または「*Delete image*」を選択します。画像を連絡先から削除しても、「*Gallery*」からは削除されません。

■ ビジネスカード

vCard 形式に対応した互換性のある機器から、個人の連絡先情報をビジネスカードとして送受信できます。

ビジネスカードを送信するには、情報を送信したい相手の連絡先を検索し、[Options] を押して「*Send business card*」を選択し、「*Via multimedia*」、「*Via text message*」、または「*Via infrared*」を選択します。

ビジネスカードを受信したときは、[Show]、[Save] の順に選択すると、本機のメモリにそのビジネスカードを保存できます。ビジネスカードを破棄するには、[Exit]、[Yes] の順に選択します。

■ マイプレゼンス

プレゼンスサービス（ネットワークサービス）を使用すると、互換性のある端末を所有し、このサービスのアクセス権限を持つ他の利用者と、自分のステータス情報を共有することができます。プレゼンスのステータスには、利用状況、ステータスメッセージ、パーソナルロゴが表示されます。プレゼンスサービスにアクセスできる他の利用者が、自分のステータス情報を見ることができます。要求された情報は、情報を見る利用者の「*Contacts*」メニューの「*Subscribed names*」に表示されます。他の利用者と共有したい情報を個人用に設定し、自分のステータスを確認できる利用者を制御することができます。

サービスを使用する前に、プレゼンスサービスに登録する必要があります。サービスが利用可能かどうか、サービス利用料金、サービスの登録方法については、携帯電話事業者またはサービスプロバイダにお問い合わせください。サービスのご利用に必要な固有の ID やパスワードと設定情報も、これらの契約先から入手できます。「構成の設定」（P. 42）を参照してください。

プレゼンスサービスに接続中、電話機の他の機能を使用できます。その場合、プレゼンスサービスはバックグラウンドで機能します。プレゼンスサービスとの接続を停止した場合、サービスプロバイダによっては、一定時間、プレゼンスステータスが情報閲覧者に表示されます。

[Menu] を押して「*Contacts*」、「*My presence*」の順に選択します。次のオプションが表示されます。

「*Connect to 'My presence' service*」または「*Disconnect from service*」- このサービスに接続またはサービスから切断します。

「*View my presence*」-「*Private presence*」や「*Public presence*」のステータスを表示します。

「*Edit my presence*」- 自分のプレゼンスステータスを変更できます。「*My availability*」、「*My presence message*」、「*My presence logo*」、または「*Show to*」を選択します。

「*My viewers*」を選択し、「*Current viewers*」、「*Private list*」、または「*Blocked list*」を選択します。

「*Settings*」を選択し、「*Show current presence in idle*」、「*Synchronise with profiles*」、「*Connection type*」、または「*Presence settings*」を選択します。

■ 登録者名

プレゼンスステータス情報を確認したい人の連絡先のリストを作成できます。連絡先またはネットワークで許可されている場合、この情報を確認できます。登録者名を表示するには、連絡先にスクロールするか、「*Subscribed names*」メニューを使用します。

使用しているメモリが「*Phone*」または「*Phone and SIM*」のいずれかであることを確認します。

プレゼンスサービスに接続するには、[Menu] を押して「*Contacts*」、「*My presence*」、「*Connect to 'My presence' service*」の順に選択します。

登録者名に連絡先を追加する

1. [Menu] を押して「*Contacts*」、「*Subscribed names*」の順に選択します。
2. リストに連絡先が 1 つもない場合、[Add] を選択します。リストに連絡先が含まれている場合は、[Options] を押して「*Subscribe new*」を選択します。連絡先リストが表示されます。
3. リストから連絡先を 1 つ選択し、連絡先にユーザ ID が保存されている場合、その連絡先が登録者リストに追加されます。

登録者名を表示する

プレゼンス情報を表示するには、「連絡先を検索する」(P. 29)を参照してください。

1. [Menu] を押して「*Contacts*」、「*Subscribed names*」の順に選択します。

   登録者リストの先頭にある連絡先のステータス情報が表示されます。他の利用者に提供する情報には、テキストと次のアイコンを含めることができます。

   、、 は、それぞれその人が応答可能(available)、公共の場所で応答可能(discreet)、応答不可(not available)のステータスを示します。

    は、相手のプレゼンス情報が入手不能であることを示します。

2. 選択した連絡先の詳細情報を表示するには、[Details] を選択します。または、[Options] を押してから、「*Subscribe new*」、「*Chat*」、「*Send message*」、「*Send business card*」、または「*Unsubscribe*」を選択します。

連絡先を登録解除する

「*Contacts*」リストから特定の連絡先の登録を解除するには、その連絡先を選択して [Details]、ユーザ ID、[Options]、「*Unsubscribe*」、[OK] の順に選択します。

登録を解除するには、[Subscribed names] メニューを使用します。「登録者名を表示する」(P. 32)を参照してください。

■ 設定

[Menu] を押して「*Contacts*」、「*Settings*」の順に選択します。次のオプションが表示されます。

「*Memory in use*」- 連絡先の登録先として SIM カードまたは本機のメモリを選択します。

「*Contacts view*」- 連絡先の名前や電話番号の表示方法を選択できます。

「*Memory status*」- メモリの空き容量と使用量が表示されます。

■ グループ

メモリに保存されている名前と電話番号を Caller グループに分けて、グループ別に異なる着信音とグループ画像を設定するには、[Menu] を押して「*Contacts*」、「*Groups*」の順に選択します。

■ ボイスダイヤル

電話番号に追加された音声の単語（ボイスタグ）を発声することにより、電話をかけることができます。名前など、あらゆる単語をボイスタグとして使用できます。作成できるボイスタグの数には制限があります。

ボイスタグを使用する前に、次の点に注意してください。

- ボイスタグは言語に依存しません。お客様の声に依存します。
- ボイスタグを発声するときは、録音したボイスタグと同じ発声をしてください。
- ボイスタグは周囲の音に敏感です。ボイスタグの録音および使用は静かな場所で行ってください。
- 短すぎる名前は認識されません。短い名前を使用したり、同じような発音の名前を別の電話番号にボイスタグとして登録したりすることは適切ではありません。

注意：ボイスタグは、騒がしい場所での発声や緊急時の使用に適していません。どのような環境や事態においても、ボイスダイヤルの機能だけに依存しないでください。

ボイスタグを追加し管理する

ボイスタグを追加する連絡先を、本機のメモリに保存またはコピーします。SIM カードに登録された名前にもボイスタグを追加できますが、SIM カードを新しいものに交換した場合、最初に古いボイスタグを削除してから新しいタグを追加する必要があります。

1. ボイスタグを追加する連絡先を検索します。
2. [Details] を選択し、登録したい電話番号にスクロールして、[Options]、「*Add voice tag*」の順に選択します。
3. [Start] を選択して、登録する単語をはっきり発声し、ボイスタグを録音します。録音終了後、録音されたボイスタグが再生されます。

「*Contacts*」では、ボイスタグが登録された電話番号に「 」アイコンが表示されます。

ボイスタグを確認するには、[Menu] を押して「*Contacts*」、「*Voice tags*」の順に選択します。ボイスタグが登録された連絡先にスクロールし、録音されたボイスタグを試聴、削除、または変更するオプションを選択します。

ボイスタグを使用して電話をかける

本機で GPRS 接続を使用してデータを送受信するアプリケーションを実行している場合、ボイスダイヤルを使用する前にそのアプリケーションを終了する必要があります。

1. 待受画面で、ボリュームダウンキーを長く押します。呼び出し音が短く鳴り、「*Speak now*」と表示されます。
2. ボイスタグをはっきりと発声します。認識されたボイスタグが再生され、1.5 秒後にそのボイスタグの電話番号にダイヤルします。

ヘッドセットキー付のヘッドセットを使用している場合、ヘッドセットキーを長く押すと、ボイスダイヤルを開始できます。

■ ワンタッチダイヤル

ワンタッチダイヤルキーに電話番号を登録するには、[Menu] を押して「*Contacts*」、「*Speed dials*」の順に選択し、登録するワンタッチダイヤルの番号にスクロールします。

「*Assign*」を選択します。そのキーに電話番号がすでに登録されている場合は、[Options]　を押して「*Change*」を選択します。[Search] を選択して、登録する名前と電話番号を順に選択します。「*Speed dialling*」機能がオフの場合、この機能を有効にするかどうかをたずねるメッセージが表示されます。「発着信の設定」(P. 38) の「*Speed dialing*」を参照してください。

ワンタッチダイヤルキーを使用した電話のかけ方については、「ワンタッチダイヤル」(P. 8) を参照してください。

■ 情報、サービス、自分の電話番号

[Menu] を押して「*Contacts*」を選択します。次のオプションが表示されます。

「*Info numbers*」- ご契約されているサービスプロバイダの情報番号が SIM カードに登録されている場合、その情報番号に電話をかけることができます(ネットワークサービス)。

「*Service numbers*」- ご契約されているサービスプロバイダのサービス番号が SIM カードに登録されている場合、そのサービス番号に電話をかけることができます(ネットワークサービス)。

「*My numbers*」- SIM カードに自分の電話番号が登録されている場合、その番号を確認できます。

8. 発着信履歴

履歴には、不在着信、着信、発信の電話番号や、通話にかかった通話時間と通話料金の概算が記録されます。

ネットワークがこの機能に対応しており、かつネットワークのサービスエリア内で本機の電源が入っている場合のみ記録されます。

■通話履歴

「*Missed calls*」、「*Received calls*」、「*Dialled numbers*」、「*Message Recipients*」メニューで、[Options] を押すと、通話時間を表示したり、履歴にある電話番号を変更および表示したり、履歴から電話をかけることができます。また、電話番号を連絡先に追加したり、履歴から削除できるオプションも表示されます。また、文字メッセージを送信することもできます。通話履歴を削除するには、「Menu」、「*Call register*」、「*Delete recent calls*」の順に選択します。

■通話料金と通話時間

注意：ご利用のサービスプロバイダから実際に請求される通話およびサービスのご利用料金は、ネットワークの機能、請求書発行時の端数計算、税金などによって異なる場合があります。

サービスまたはソフトウェアのアップグレードを行うと、ライフタイマーなどのタイマーがリセットされる可能性があります。

[Menu] を押して「*Call register*」を選択し、「*Call duration*」、「*Packet data counter*」、または「*Packet data conn. timer*」を選択すると、最近の通話についての情報が表示されます。

9. 設定

■プロファイル（モード）

本機には「プロファイル」と呼ばれるモードの設定グループがあり、携帯電話の着信音などを状況や環境に合わせて自由に設定することができます。

[Menu] を押して「*Settings*」、「*Profiles*」の順に選択します。プロファイル（モード）にスクロールして、それを選択します。

選択したプロファイルを有効にするには、「*Activate*」を選択します。

選択したプロファイルは設定した時刻（24 時間以内）まで使用することができます。「*Timed*」を選択し、終了時刻を入力します。終了時刻になると、以前に使用していたプロファイルに自動的に戻ります。

プロファイルを個人用に調整するには、「*Personalise*」を選択します。変更する設定を選択し、変更を加えます。プレゼンス情報を変更するには、「*My presence*」を選択し、「*My availability*」または「*My presence message*」を選択します。「*Synchronise with profiles*」が「*On*」に設定されている場合は、「*My presence*」メニューを使用できます。「マイプレゼンス」（P. 31）を参照してください。

■テーマ

テーマには、壁紙、スクリーンセーバー、配色など、電話機を個人用に調整する多数の要素が含まれています。

[Menu] を押して「*Settings*」、「*Themes*」の順に選択します。次のオプションが表示されます。

「*Select theme*」- 本機にテーマを設定できます。「*Gallery*」に含まれるフォルダのリストが表示されます。「*Themes*」フォルダを開き、テーマを選択します。

「*Theme downloads*」- 追加のテーマをダウンロードできるリンク先のリストが表示されます。「ファイルをダウンロードする」（P. 69）を参照してください。

■音の設定

選択した有効なモードの設定を変更することができます。

[Menu] を押して「*Settings*」、「*Tones*」の順に選択します。「*Incoming call alert*」、「*Ringing tone*」、「*Ringing volume*」、「*Vibrating alert*」、「*Push to talk settings*」、「*Message alert tone*」、「*Instant message alert tone*」、「*Keypad tones*」、および「*Warning tones*」を選択して変更します。「*Profiles*」メニューにも同じ設定があります。「プロファイル（モード）」（P. 36）を参照してください。

特定のグループに登録されている電話番号から電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らすには、「*Alert for*」を選択します。この機能を設定するグループをスクロールキーで選択するか、「*All calls*」を選択して、[Mark] を選択します。

■ マイショートカット

個人用のショートカットを使用すると、頻繁に使用する電話機の機能をすばやく起動できます。
ショートカットを管理するには、[Menu] を押して「*Settings*」、「*My shortcuts*」の順に選択します。次のオプションが表示されます。

「*Right selection key*」- 右選択キーの機能をリストから選択します。「待受モード」（P. 5）を参照してください。このメニューは、サービスプロバイダによっては表示されない場合があります。

「*Navigation key*」ー ナビゲーションキーのショートカット機能を選択します。該当するナビゲーションキーにスクロールして、[Change] を選択し、リストから機能を選びます。キーからショートカット機能を削除するには「*(empty)*」を選択します。キーに機能を再度割り当てるには [Assign] を選択します。このメニューは、サービスプロバイダによっては表示されない場合があります。

「*Voice commands*」- ボイスタグを発声することによって、電話機の機能を起動させることができます。フォルダを選択し、ボイスタグに追加する機能にスクロールして [Add] を選択します。 はボイスタグを示します。ボイスダイヤルを追加するには、「ボイスタグを追加し 管理する」（P. 33）を参照してください。ボイスダイヤルをオンにするには、「ボイスタグを使用して 電話をかける」（P. 34）を参照してください。

■ メインディスプレイ

[Menu] を押して「*Settings*」、「*Main Display*」の順に選択します。次のオプションが表示されます。

「*Wallpaper*」- メインディスプレイの待受画面に表示する背景画像を追加します。壁紙を有効または無効にするには、「*Select wallpaper*」を選択して、「*On*」または「*Off*」を選択します。フォルダ内の画像をスライドセットとして使用するには、「*Select slide set*」を選択して、「*Gallery*」内のフォルダを選択します。壁紙用の画像をさらにダウンロードするには、「*Graphic downloads*」を選択します。

「*Screen saver*」、「*On*」の順に選択 - メインディスプレイのスクリーンセーバーを有効にします。スクリーンセーバーが起動されるまでの時間を設定するには、「*Time-out*」を選択します。スクリーンセーバーに使用するグラフィックを選択するには、「*Image*」を選択し、「*Gallery*」から画像またはグラフィックを選択します。フォルダ内の画像をスライドセットとして使用するには、「*Select slide set*」を選択して、「*Gallery*」内のフォルダを選択します。スクリーンセーバー用の画像をさらにダウンロードするには、「*Graphic downloads*」を選択します。

「*Power saver*」、「*On*」の順に選択 - 電池の消費を少なくします。本機で一定の時間何も操作しないとデジタル時計が表示されます。

「*Colour schemes*」- 特定の画面要素(メニューの背景色、電波の強さや電池残量を示すバーの色など)の配色を変更できます。

「*Idle state font colour*」- 待受モードの画面上の文字の色を選択します。

「*Operator logo*」- 携帯電話事業者のロゴを表示または非表示にします。携帯電話事業者のロゴが保存されていない場合、このメニューはグレー表示になります。携帯電話事業者のロゴの詳細については、携帯電話事業者またはサービスプロバイダにお問い合わせください。

■ サブディスプレイ

[Menu] を押して「*Settings*」、「*Mini display*」の順に選択します。「*Wallpaper*」、「*Screen saver*」、「*Power saver*」、および「*Colour schemes*」の設定を変更できます。

■ 日時の設定

[Menu] を押して「*Settings*」、「*Time and date*」の順に選択します。次のオプションが表示されます。

「*Clock*」- 待受画面に時計を表示し、時刻を調整し、タイムゾーンと時刻の表示形式を選択します。

「*Date*」- 待受画面に日付を表示し、日付を設定し、日付の表示形式と区切り文字を選択します。

「*Auto-update of date & time*」(ネットワークサービス) - 現在地のタイムゾーンによって日時が自動的に更新されます。

■ 発着信の設定

[Menu] を押して「*Settings*」、「*Call*」の順に選択します。次のオプションが表示されます。

「*Automatic volume control*」- スピーカーの音量を背景ノイズに応じて自動的に調整します。

「*Call divert*」(ネットワークサービス) - 着信した電話を転送します。なんらかの通話禁止機能が有効になっている場合、着信した電話を転送できない場合があります。「セキュリティ」(P. 43) の「*Call barring service*」を参照してください。

「*Anykey answer*」、「*On*」の順に選択 - 任意のキーを押して、かかってきた電話に応答することができます。ただし、終了キー、左選択キー、右選択キーでは応答できません。

「*Answer when fold is opened*」、「*On*」の順に選択 - 電話機を開くと、かかってきた電話に応答できます。

「*Automatic redial*」、「*On*」の順に選択 - かけた電話が相手につながらないときに、最大10回までリダイヤルします。

「*Speed dialling*」、「*On*」の順に選択 - ワンタッチダイヤルを有効にします。ワンタッチダイヤルの設定方法については、「ワンタッチダイヤル」（P. 34）を参照してください。電話をかけるには、ワンタッチダイヤルに割り当てられた番号キーを長く押します。

「*Call waiting*」、「*Activate*」の順に選択 - 通話中に別の電話がかかってきたときにネットワークから通知されます（ネットワークサービス）。「割込通話」（P. 9）を参照してください。

「*Summary after call*」、「*On*」の順に選択 - 通話終了後にその通話にかかったおおよその時間と料金が、画面に短時間表示されます（ネットワークサービス）。

「*Send my caller ID*」（ネットワークサービス）を選択し、「*Yes*」、「*No*」、または「*Set by network*」を選択します。

「*Line for outgoing calls*」（ネットワークサービス）- SIM カードがこの機能に対応している場合、発信時に使用する回線1または回線2を選択できます。

■ 電話機の設定

[Menu] を押して「*Settings*」、「*Phone*」の順に選択します。次のオプションが表示されます。

「*Phone language*」- 画面の表示言語と入力言語を設定します。

「*Memory status*」- 「*Gallery*」、「*Messages*」、および「*Applications*」のメモリの空き容量と使用量を確認できます。

「*Automatic keyguard*」- 本機の表示が待受画面で、いずれの機能も使用されていない場合、事前に設定した一定時間の経過後に電話機のキーパッドが自動的にロックされます。「*On*」を選択し、5 秒 ～ 60 分の間で時間を設定します。

「*Security keyguard*」- キーガードを解除するときにセキュリティコードの入力を求めるように設定します。セキュリティコードを入力して、「*On*」を選択します。

「*Cell info display*」、「*On*」の順に選択 - 使用しているネットワークセルの情報を携帯電話事業者から受信できます（ネットワークサービス）。

「*Welcome note*」- 本機の電源を入れたときに画面に短時間表示されるメッセージを入力します。

「*Operator selection*」、「*Automatic*」の順に選択 - 現在のエリアで利用可能な携帯電話ネットワークを自動的に選択します。「*Manual*」に設定する場合は、ホームネットワークの携帯電話事業者とローミング契約を結んでいるネットワークを選択できます。

「*Confirm SIM service actions*」- 「SIM サービス」(P. 74)を参照してください。

「*Help text activation*」- ヘルプテキストを表示するかどうかを選択できます。

「*Start-up tone*」- 本機の電源を入れたときにウェイクアップ音を鳴らすかどうかを設定します。

■ 接続

本機は、互換性のある電話機と赤外線接続を使用して接続できます。パケットデータのダイヤルアップ接続のための設定も指定できます。

赤外線

本機は、赤外線(IR)ポートを使用してデータの送受信を行うよう設定できます。IR 接続を使用するには、接続を確立する機器が IrDA 対応である必要があります。本機の IR ポートを使用して、IrDA 対応の電話機やデータ機器(コンピュータなど)との間でデータの送受信を行えます。

IR(赤外線)ビームを人の目に向けたり、他の IR 機器を妨害しないようにしてください。本機は、クラス 1 レーザ製品です。

データの送受信を行うときは、データの送信側と受信側の装置の IR ポートを向かい合わせ、間に障害物がないことを確認します。

本機の IR ポートを有効にし、IR を使用してデータを受信するには、[Menu] を押し「*Settings*」、「*Connectivity*」、「*Infrared*」の順に選択します。

IR 接続を無効にするには、[Menu] を押し「*Settings*」、「*Connectivity*」、「*Infrared*」の順に選択します。「*Deactivate infrared?*」が表示されるので、[Yes] を選択します。

IR ポートを有効にしてから 2 分以内にデータ転送が開始されないと接続が取り消されます。この場合は、もう一度 IR 接続を行ってください。

IR 接続アイコン

IR 接続が有効な間は、þ··· が表示され続けます。IR ポートを使用してデータの送受信を行えます。

þ··· が点滅している場合は、ほかの機器との接続を試みているか、接続が失われていることを示しています。

パケットデータ（EGPRS）

EGPRS（Enhanced General Packet Radio Service）、すなわち、パケットデータとは、携帯電話機でIP（インターネットプロトコル）ネットワークを介してデータを送受信できるようにするネットワークサービスです。このサービスによって、インターネットなどのデータネットワークへの無線アクセスが可能になります。

パケットデータを使用可能なアプリケーションには、MMS、ブラウジングセッション、E-mail、リモートSyncML、Javaアプリケーションダウンロード、PCダイヤルアップがあります。

パケットデータサービスの使用について設定するには、[Menu]を押して「*Settings*」、「*Connectivity*」、「*Packet data*」、「*Packet data connection*」の順に選択します。

「*When needed*」を選択すると、アプリケーションで必要になったときにパケットデータ接続が確立されます。アプリケーションを終了すると、サービスが切断されます。

「*Always online*」を選択すると、本機の電源を入れたときにパケットデータネットワークに自動的に接続します。

G はパケットデータ接続を示すアイコンです。

モデムの設定

IRまたはデータケーブル（CA-42）接続を使用して本機を互換性のあるPCに接続し、本機をモデムとして使用してPCからパケットデータに接続することができます。

PCから接続の設定を行うには、[Menu]を押して「*Settings*」、「*Connectivity*」、「*Packet data*」、「*Packet data settings*」、「*Active access point*」の順に選択します。使用したいアクセスポイントを有効にし、「*Edit active access point*」を選択します。「*Alias for access point*」を選択し、現在選択されているアクセスポイントの略称を入力します。「*Packet data access point*」を選択し、EGPRSネットワークへの接続を確立するためのアクセスポイント名（APN）を入力します。

PCのダイヤルアップサービスへの設定（アクセスポイント名）も、Nokia Modem Optionsソフトウェアを使用して設定できます。「Nokia PC Suite」（P. 75）を参照してください。PCと電話機の両方で設定を行った場合、PCの設定が使用されます。

■ アクセサリの設定

このメニューは、お使いの電話機に対応する携帯電話機アクセサリが接続されている場合にのみ表示されます。

[Menu]を押し「*Settings*」、「*Enhancements*」の順に選択します。該当するアクセサリが電話機に接続されている場合に、アクセサリメニューを選択できます。使用するアクセサリに応じて、次のオプションの中から選択します。

「*Default profile*」- 選択したアクセサリに接続したときに自動的に起動させるモードを選択します。

「*Automatic answer*」- 電話が着信した場合に、5 秒後に自動的に応答するよう設定できます。「*Incoming call alert*」を「*Beep once*」または「*Off*」に設定した場合、自動応答はオフになります。

注意：自動応答は、「*General*」プロファイルが選択されているときのみ使用できます。

「*Lights*」- 照明を常に点灯しておく場合は、「*On*」に設定します。「*Automatic*」を選択すると、キーを押してから約 15 秒間、照明が点灯します。

「*Text phone*」、「*Use text phone*」、「*Yes*」の順に選択 - ヘッドセットまたはループセットの設定の代わりに、文字電話の設定を使用します。

■ 構成の設定

特定のサービスを正しく機能させるために、電話機を設定することができます。対象となる機能は、ブラウザ、マルチメディアメッセージング、インターネットサーバとのリモート同期、プレゼンス、および E-mail アプリケーションです。SIM カードからデータを取り込むか、サービスプロバイダから設定メッセージとして入手するか、または、個人用設定を手動で入力します。電話機には、サービスプロバイダの設定を最大 20 種類保存でき、このメニューを使用してそれらの設定を管理できます。

サービスプロバイダから設定メッセージとして受信した設定を保存するには、「設定サービス」(P. xiv) を参照してください。

[Menu] を押して「*Settings*」、「*Configuration*」の順に選択します。次のオプションが表示されます。

「*Default configuration settings*」- 電話機に保存されているサービスプロバイダが表示されます。サービスプロバイダにスクロールして [Details] を選択すると、このサービスプロバイダの設定が対応しているアプリケーションが表示されます。サービスプロバイダの設定を標準の設定にするには、[Options] を押して「*Set as default*」を選択します。設定を削除するには、「*Delete*」を選択します。

「*Activate default in all applications*」- 対応するアプリケーションで標準の設定を有効にします。

「*Preferred access point*」- 保存されているアクセスポイントが表示されます。アクセスポイントにスクロールして、[Options] を押して「*Details*」を選択すると、サービスプロバイダ名、データベアラ、パケットデータのアクセスポイント、または GSM ダイヤルアップ用電話番号が表示されます。

「*Connect to service provider support*」- サービスプロバイダから構成設定をダウンロードします。

「*Personal configuration settings*」- 多様なサービスの新規の個人アカウントを手動で追加したり、アカウントを有効にしたり、削除したりすることができます。既存のアカウントがない場合に新規の個人アカウントを追加するには、[Add] を選択します。アカウントがすでに存在する場合は、[Options] を押して「*Add new*」を選択します。サービスのタイプを選択し、必要なパラメータを選択して入力します。パラメータは、選択するサービスタイプによって異なります。個人アカウントを削除または有効にするには、そのアカウントにスクロールして、[Options] を押して「*Delete*」または「*Activate*」を選択します。

■ セキュリティ

通話制限（「call barring」、「closed user group」、「fixed dialing」）のセキュリティ機能が使用されている場合でも、本機にプログラムされている公式の緊急電話番号に電話をかけることができます。

[Menu] を押して「*Settings*」、「*Security*」の順に選択します。次のオプションが表示されます。

「*PIN code request*」- 本機の電源を入れたときに PIN コードまたは UPIN コードの入力が必要になるよう設定します。一部の SIM カードでは、この機能の解除を禁止しています。

「*Call baring service*」（ネットワークサービス）- 電話の発着信を制限します。この機能の設定には、パスワードが必要です。

「*Fixed dialling*」- SIM カードがこの機能に対応している場合、電話の発信を、選択した電話番号だけに制限することができます。

「*Closed user group*」（ネットワークサービス）- 特定のグループの人を電話の発着信の相手に指定できます。

「*Security level*」、「*Phone*」の順に選択 - 新しい SIM カードが本機にセットされた場合、セキュリティコードの入力が必要になります。「*Memory*」を選択すると、使用するメモリを SIM カードから本体に変更するときにセキュリティコードの入力が必要になります。

「*Access codes*」- 使用している PIN コードまたは UPIN コードを設定したり、セキュリティコード、PIN コード、UPIN コード、PIN2 コード、および発着信規制パスワードを変更します。

「*Code in use*」- PIN コードと UPIN コードのどちらを有効にするかを選択します。

「*Pin2 code request*」- PIN2 コードの対象となる特定の電話機能を使用する際に PIN2 コードが必要かどうかを選択します。

■ 初期設定に戻す

メニューの設定をお買い上げの際の設定にリセットするには、[Menu]を押して「*Settings*」、「*Restore factory settings*」の順に選択します。セキュリティコードを入力します。
「*Contacts*」に登録されている名前や電話番号など、お客様が入力またはダウンロードしたデータは削除されません。

10. オペレータメニュー

このメニューから、携帯電話事業者の提供するサービスのポータルサイトにアクセスできます。メニュー名やアイコンは、事業者ごとに異なります。詳細については、携帯電話事業者にお問い合わせください。このメニューが表示されない場合、次のメニュー番号がそれに応じて変わります。

事業者は、サービスメッセージで通知してこのメニューをアップデートすることがあります。詳細については、「サービス受信ボックス」(P. 70) を参照してください。

11. ギャラリー

このメニューでは、グラフィックス、画像、録音、ビデオクリップ、テーマ、音を管理できます。これらのデータファイルがフォルダに整理されます。

本機では、取得したコンテンツを保護するために、起動キーシステムをサポートしています。コンテンツには料金が課せられる場合があるので、取得する前にコンテンツの配布条件と起動キーについて必ず確認する必要があります。

著作権の保護のため、一部の画像や音楽（着信音を含む）、およびその他のコンテンツのコピー、変更、譲渡、伝送はできないことがあります。

「*Gallery*」に保存されたファイルは、約 3 MB の容量があるメモリを使用します。

1. [Menu] を押して「*Gallery*」を選択します。
2. 該当するフォルダにスクロールします。フォルダ内のファイルのリストを表示するには、[Open]、[Options] の順に選択して、利用可能なオプションの 1 つを選択します。
3. 表示するファイルにスクロールして、[Open]、[Options] の順に選択して、利用可能な機能の 1 つを選択します。

「*Send*」- MMS または IR を使用して選択したファイルを送信します。

「*Delete all*」- 選択したフォルダ内のすべてのファイルとフォルダを削除します。

「*Edit image*」- 選択した画像に文字、フレーム、またはクリップアートを挿入するか、画像を切り取ります。

「*Open in sequence*」- フォルダ内のファイルを 1 つずつ表示します。

「*Zoom*」- 画像を拡大します。

「*Mute audio*」（*Unmute audio*）- サウンドファイルを消音（消音解除）にします。

「*Set contrast*」- 画像のコントラストレベルを調節します。

「*Activate content*」- 選択したファイルの起動キーを更新します。このオプションは、ファイルが起動キーの更新をサポートする場合にのみ表示されます。

「*Activation key list*」- 利用可能なすべての起動キーのリストを表示します。起動キーは削除することができます（たとえば、期限切れのキー）。

12. メディア

著作権の保護のため、一部の画像や音楽（着信音を含む）、およびその他のコンテンツのコピー、変更、譲渡、伝送はできないことがあります。

■ カメラ

本機内蔵カメラで、写真を撮ったり、ビデオクリップを録画することができます。このカメラでは、JPEG 形式の画像と 3GP 形式のビデオクリップが生成されます。

画像やビデオクリップを撮影または録画して使用する際には、すべての法律を順守し、その地域の慣習や他人のプライバシーおよび法的権利を尊重してください。

写真撮影

[Menu] を押し「*Media*」、「*Camera*」、[Capture] の順に選択します。またはカメラシャッターキーを押します。撮影した写真は、本機の「*Gallery*」の「*Images*」に保存されます。別の写真を撮影するには、[Back] を選択します。撮影した写真をマルチメディアメッセージとして送信するには、[Send] を選択します。オプションを表示するには、[Options] を押します。

自分を撮影するには、電話機を閉じてサブディスプレイをファインダー（カメラののぞき窓）として使用します。カメラシャッターキーを押します。

ビデオクリップを録画する

[Menu] を押して「*Media*」、「*Camera*」の順に選択します。ビデオモードを選択するには、左または右にスクロールするか、[Options]、「*Video*」の順に選択します。次に、「Record」を選択するか、カメラシャッターキーを押します。録画を一時停止するには、[Pause] を選択し、録画を再開するときは、[Continue] を選択します。録画を停止するには、[Stop] を選択します。録画したビデオクリップは、本機の「*Gallery*」の「*Video clips*」に保存されます。オプションを表示するには、[Options] を押します。

■ ラジオ

FM ラジオは、無線機器のアンテナ以外のアンテナに依存します。FM ラジオが正しく機能するには、互換性のあるヘッドセットまたはアクセサリを取り付ける必要があります。

警告：音楽を聴く際には、適度な音量を守ってください。大音量で音楽を聴き続けると、聴覚に障害をきたす可能性があります。スピーカーを使用する際には、本機を耳に近づけないでください。

[Menu]、「*Media*」、「*Radio*」の順に選択します。画面に表示される ▲、▼、◀◀、または ▶▶ のグラフィカルキーを使用するには、そのキーまで左または右にスクロールして選択します。

音量を変更するには、音量キーを押します。

ラジオのチャンネルを登録する

1. チャンネルを検索するには、◀◀ または ▶▶ を長く押します。ラジオの周波数を 0.05 MHz ごとに変更する場合は、◀◀ または ▶▶ を押します。
2. そのチャンネルをメモリロケーションの 1 から 9 に登録するには、該当するキーを長く押します。そのチャンネルをメモリロケーションの 10 から 20 に登録するには、**1** または **2** を押し、続いて **0** から **9** の番号キーを長く押します。
3. チャンネルの名前を入力して、[OK] を選択します。

ラジオを聴く

[Menu] を押して「*Media*」、「*Radio*」の順に選択します。希望のチャンネルにスクロールして ▲ または ▼ を選択するか、ヘッドセットキーを押します。登録したラジオチャンネルロケーションを選択するには、該当する番号キーを押します。

[Options] を選択します。次のオプションが表示されます。

「*Switch off*」- ラジオをオフにします。

「*Save channel*」- 新しいチャンネルを登録し、チャンネルの名前を入力します。

「*Channels*」- 登録したチャンネルのリストを選択します。チャンネルを削除したり名前を変更するには、そのチャンネルにスクロールして、[Options] を押し「*Delete channel*」または「*Rename*」を選択します。

「*Mono output*」または「*Stereo output*」- ラジオをモノラルまたはステレオで聴きます。

「*Loudspeaker*」または「*Headset*」- ラジオをスピーカーまたはヘッドセットを使用して聴きます。ヘッドセットは電話に接続したままにしてください。ヘッドセットのリードはラジオのアンテナとして機能します。

「*Set frequency*」- ラジオチャンネルの周波数を入力します。

ラジオを聴いている間も、通常どおり電話をかけたり電話に応答することができます。通話中は、ラジオの音量は消音になります。

パケットデータまたは HSCSD 接続を使用しているアプリケーションがデータの送受信を行うと、ラジオを妨害することがあります。

■ レコーダー

音声、サウンド、または通話中の会話を 5 分間録音することができます。実際に録音できる時間は、利用可能な空きメモリの容量により異なります。

データの呼び出しや GPRS 接続が有効な場合は、レコーダーを使用することはできません。

録音する

1. [Menu] を押して「*Media*」、「*Recorder*」の順に選択します。

   画面に表示される ●、❚❚、または ■ のグラフィカルキーを使用するには、そのキーまで左または右にスクロールして選択します。

2. 録音を開始するには、● を選択します。通話中に録音を開始するには、[Options] を押して「*Record*」を選択します。通話の録音中、通話に加わっているすべての人に 5 秒おきにビープ音が聞こえます。通話の録音中は、本機を通常どおり耳元で使用します。

3. 録音を終了するには、■ を選択します。録音した通話は「*Gallery*」の「*Recordings*」に保存されます。

4. 最近の録音を聞くには、「*Recordings* 」のリストから選択してください。

5. 最近の録音をマルチメディアメッセージまたは IR を使用して送信するには、[Options]、「*Via infrared*」の順に選択します。

録音リスト

[*Menu*] を押して「*Media*」、「*Recorder*」、[Options]、「*Recordings list*」の順に選択します。「*Gallery*」に含まれるフォルダのリストが表示されます。「*Recordings*」を開くと、録音した音声のリストが表示されます。[Options] を押すと、「*Gallery*」内のファイルに対するオプションを選択できます。「ギャラリー」（P. 46）を参照してください。

13. オーガナイザー

■ アラーム

設定した時刻にアラームを鳴らすことができます。[Menu] を押して「*Organiser*」、「*Alarm clock*」の順に選択します。

アラームを設定するには、「*Alarm time*」を選択してアラーム時刻を入力します。アラーム時刻を変更するには、アラーム時刻を変更後に「*On*」を選択します。指定した曜日にアラームを鳴らすには、「*Repeat alarm*」を選択します。

アラーム音を選択したり、アラーム音としてラジオを鳴らすには、「*Alarm tone*」を選択します。アラーム音にラジオを選択した場合は、電話機にヘッドセットを接続してください。最後に聴いていたチャンネルがアラーム音としてなります。アラーム音はスピーカーから鳴ります。ヘッドセットを接続していない場合や、電話機の電源を切っている場合は、ラジオの変わりにデフォルトのアラーム音が鳴ります。

スヌーズタイムアウト（後で再び鳴る）を設定するには、「*Snooze time-out*」を選択します。

アラームを停止する

本機の電源がオフのときでも、アラーム音は鳴り、画面に「*Alarm!*」という文字と現在時刻が点滅表示されます。アラームを停止するには、[Stop] を選択します。電話機を開いても停止できます。アラームを 1 分間鳴らし続けるか、または [Snooze] を押すと、アラームが止まり、事前に設定したスヌーズ時間の経過後に再びアラームが鳴ります。

本機の電源が入っていないときにアラーム時刻になると、自動的に電源が入ってアラーム音が鳴り始めます。[Stop] を押すと、通話できる状態にするかどうかの確認が本機に表示されます。電源を切る場合は [No] を押します。電話をかけたり受けたりする場合は [Yes] を押します。携帯電話によって電波干渉や危険な事態を引き起こす可能性がある場合は、[Yes] を押さないでください。

■ カレンダー

[Menu] を押して「*Organiser*」、「*Calendar*」の順に選択します。

今日の日付は枠で囲まれて表示されます。カレンダーノートが保存されている日付は、太字で表示されます。カレンダーノートを表示するには、[View] を選択します。週単位で表示するには、[Options] を押して「*Week view*」を選択します。カレンダーに保存されているすべてのノートを削除するには、月または週単位の表示を選択し、[Options] を押して「*Delete all notes*」を選択します。

日付ごとの表示に使用できるオプションには､｢*Make a note*｣や､ノートの「*Delete*」､「*Edit*」､「*Move*」､またはノートの「*Repeat*」があります。また、ノートを他の日付に「*Copy*」したり､｢*Send note*」でノートを文字メッセージまたはマルチメディアメッセージで送信したり、赤外線を使用して送信したり、または互換性のある他の電話機のカレンダーに送信することができます｡｢*Settings*」では、日付と時刻を設定できます｡｢*Auto-delete notes*｣を使用すると、一定時間が経過したノートを自動的に削除できます。

カレンダーノートを作成する

[Menu] を押して「*Organiser*」､「*Calendar*」の順に選択します。スクロールキーで日付を選択して [Options] を押し､｢*Make a note*｣を選択します。カレンダーノートのタイプを次の中から選択します。「*Meeting*」､「*Call*」､「*Birthday*」､「*Memo*」､または「*Reminder*」。

アラームの時刻になると

アラーム音が鳴り、カレンダーノートが表示されます。Call タイプのノートの場合､通話キーを押すだけで、表示された番号に電話がかかります。アラームを止めてカレンダーノートを確認するには、[View] を選択します。[Snooze] を選択すると、アラーム音は約 10 分間後に再び鳴ります。カレンダーノートを確認せずにアラームを止めるときは、[Exit] を選択します。

■ 予定表

やらなければならない仕事のノートを保存するには､[Menu] を押して「*Organiser*」､「*To-do list*」の順に選択します。

ノートが 1 つも保存されていない場合にノートを作成するには､[Add note] を選択します。すでに保存されたノートがある場合は､[Options] を押して｢*Add*｣を選択します。ノートを入力し、[Save] を選択します。ノートの優先度、期日、およびアラームタイプを選択します。

ノートを確認するには、そのノートにスクロールして [View] を選択します。

選択したノートを削除するオプションや、完了（done）のマークを付けたノートをすべて削除するオプションも選択できます。ノートを優先度順または期日順に並べ替えたり、他の電話機に文字メッセージまたはマルチメディアメッセージとしてノートを送信したり、カレンダーノートとしてノートを保存したり､また､カレンダーにアクセスするなどの機能があります。

ノートの表示中にも、ノートの優先度や期日を編集したり、ノートに完了（done）のマークを付けるオプションを選択できます。

■ ノート

このアプリケーションを使用してノートを作成して送信するには、[Menu] を押して「*Organiser*」、「*Notes*」の順に選択します。ノートが1つも保存されていない場合にノートを作成するには、[Add] を選択します。すでに保存されたノートがある場合は、[Options] を押して「*Make a note*」を選択します。ノートを入力し、「*Save*」を選択します。

その他のオプションには、ノートの削除と編集があります。ノートの編集中、変更を保存せずにテキストエディターを終了することもできます。文字メッセージ、マルチメディアメッセージ、または赤外線を使用して互換性のある機器にノートを送信できます。文字メッセージで送信するときにノートが長すぎると、超過する文字数をノートから削除するかどうかをたずねるメッセージが表示されます。

■ 同期

同期では、カレンダーや「*Contacts*」データを、リモートのインターネットサーバ（ネットワークサービス）や互換性のある PC に保存できます。データをリモートのインターネットサーバに保存した場合、携帯電話を同期させるには、本機から同期を実行します。携帯電話の電話帳、カレンダー、またはノートにあるデータを同期させて、互換性のある PC のデータと一致させるには、PC から同期を開始します。SIM カードに保存されている連絡先データは同期されません。

同期の実行中に電話に応答すると同期が終了するため、もう一度同期を開始する必要があります。

本機から同期を開始する

携帯電話から同期を開始する前に、次のことを行ってください。

- 同期サービスに加入する必要があります。詳細については、サービスプロバイダにお問い合わせください。
- サービスプロバイダから同期設定を入手します。「同期を設定する」（P. 53）を参照してください。

携帯電話機から同期を開始するには、次のようにします。

1. 同期の実行に必要な設定を選択します。「同期を設定する」（P. 53）を参照してください。
2. [Menu] を押して「*Organiser*」、「*Sync*」、「*Server sync*」、「*Data to be synchronised*」の順に選択します。同期するデータにマークを付けます。
3. [Menu] を押して「*Organiser*」、「*Sync*」、「*Server sync*」、「*Synchronise*」の順に選択します。確認メッセージが表示された後、マークの付いたアクティブなデータセットが同期されます。

連絡先やカレンダーの量が多い場合、同期を初めて実行する際や、中断した後に再開する際に、同期の完了までに最長で 30 分かかることがあります。

同期を設定する

同期の実行に必要な設定は、携帯電話事業者またはサービスプロバイダから設定メッセージとして受信することができます。設定を管理するには、「構成の設定」(P. 42) を参照してください。

1. [Menu] を押して 「*Organiser*」、「*Sync*」、「*Server sync*」、「*Sync settings*」の順に選択します。次のオプションが表示されます。

   「*Configuration*」- 同期をサポートする設定のみが表示されます。サービスプロバイダを選択し、同期の「*Default*」または「*Personal config.*」を選択します。

   「*Account*」- 有効な設定に含まれる同期サービスのアカウントを選択します。

2. 「*PC sync settings*」を選択して、同期を行うサーバの設定を入力します。「*User name*」および「*Password*」を設定します。

   携帯電話機と PC で同じユーザ名とパスワードを指定する必要があります。

互換性のある PC から同期する

互換性のある PC から「*Contacts*」、「*Calendar*」、および「*Notes*」を同期させるには、赤外線またはデータケーブル接続を使用します。本機に対応した Nokia PC Suite が PC にインストールされている必要があります。PC から Nokia PC Suite を使用して同期を開始します。

■ 電卓

本機の電卓には、足し算、引き算、かけ算、割り算、2 乗、平方根、および通貨の換算機能があります。

注意：この計算機は単純な計算用に設計されており、精度には限界があります。

[Menu] を押して「*Organiser*」、「*Calculator*」の順に選択します。画面に 0 が表示されたら、計算する 1 番目の数を入力します。小数点には # キーを押します。[Options] を押して「*Add*」、「*Subtract*」、「*Multiply*」、「*Divide*」、「*Square*」、「*Square root*」、または「*Change sign*」を選択します。計算する 2 番目の数を入力します。結果を出すには、「Equals」を選択します。この手順を必要なだけ繰り返します。新しい計算を開始するには、[Clear] を長く押します。

通貨を換算するには、[Menu] を押して「*Organiser*」、「*Calculator*」の順に選択します。換算レートを設定するには、[Options]、「*Exchange rate*」の順に選択します。表示されたオプションのどちらか一方を選択します。換算レートを入力して（小数点には # キーを押す）、[OK] を選択します。換算レートは別の値が入力されるまでメモリに残ります。通貨を換算するには、金額を入力して、[Options] を押し、「*In domestic*」または「*In foreign*」を選択します。

注意：基本通貨を変更すると、前に設定した交換レートがゼロになるので、新しいレートを入力する必要があります。

■ ストップウォッチ

時間を計測したり、経過時間（スプリットタイム）を記録したり、ラップタイムを記録したりするには、ストップウォッチを使用します。ストップウォッチの使用中でも、本機の他の機能は使用できます。ストップウォッチをバックグラウンドで使用するには、終了キーを押します。

他の機能を使用しているときにストップウォッチを使用したり、ストップウォッチをバックグラウンドで実行したりすると、電池の消費量が増え、電池の消耗が早くなります。

[Menu] を押し「*Organiser*」、「*Stopwatch*」の順に選択します。次のオプションが表示されます。

「*Split timing*」- 経過時間を記録します。ストップウォッチの表示を開始するには、[Start] を選択します。経過時間を記録するたびに、[Split] を選択します。ストップウォッチを停止するには、[Stop] を選択します。測定した時間を保存するには、[Save] を選択します。ストップウォッチの表示を再開するには、[Options]、「*Start*」の順に選択します。この場合、ストップウォッチを停止する前の時間に新しい時間が追加されます。ストップウォッチを停止する前の時間をリセットするには、「*Reset*」を選択します。ストップウォッチをバックグラウンドで使用するには、終了キーを押します。

「*Lap timing*」- ラップタイムを記録します。ストップウォッチをバックグラウンドで使用するには、終了キーを押します。

「*Continue*」- バックグラウンドで使用しているストップウォッチを元に戻します。

「*Show last*」- 最後に計測した時間を表示します。ただし、ストップウォッチをリセットしていると表示されません。

「*View times*」または「*Delete times*」- 保存した時間を表示または削除します。

■ カウントダウンタイマー

[Menu] を押して「*Organiser*」、「*Timer*」の順に選択します。タイマーの時間を、時間、分、および秒で入力し、[OK] を選択します。タイマーの時間が経過したときに表示させる文字メッセージも入力できます。タイマーを起動するには、「*Start*」を選択します。タイマーの時間を変更するには、「*Change time*」を選択します。タイマーを停止するには、「*Stop timer*」を選択します。

本機が待受モードのときにタイマーの時間が経過すると、アラーム音が鳴り、文字メッセージを入力してある場合はそれが表示されます。それ以外は「*Countdown time up*」が表示されます。アラームは、キーをどれか押すと停止できます。どのキーも押さないと、アラームは 30 秒後に自動的に停止します。アラームを停止して文字メッセージを消去するには、[Exit] を選択します。タイマーを再び起動するには、[Restart] を選択します。

14. アプリケーション

■ ゲーム

本機にはゲームが搭載されています。

ゲームを起動する

[Menu] を押して「*Applications*」、「*Games*」の順に選択します。起動するゲームにスクロールして、[Open] を選択します。

ゲーム関連のオプションについては、「その他のアプリケーションオプション」（P. 56）を参照してください。

ゲームをダウンロードする

「*Menu*」、「*Applications*」、[Options]、「*Downloads*」、「*Game downloads*」の順に選択します。利用できるブックマークのリストが表示されます。「*Web*」メニューにあるブックマークのリストにアクセスするには、「*More bookmarks*」を選択します。「ブックマーク」（P. 69）を参照してください。

重要: ゲームやアプリケーションをインストールする際は、そのサイトのセキュリティやコンテンツが信頼性のあるものかどうか確認してください。

ゲームを設定する

ゲームやアプリケーション用に音、明るさ、振動を設定するには、「*Menu*」、「*Applications*」、[Options]、「*App. settings*」の順に設定します。

■ コレクション

本機は、Nokia 携帯電話用の Java アプリケーションを搭載しています。

アプリケーションを起動する

[Menu] を押して「*Applications*」、「*Collection*」の順に選択します。使用するアプリケーションまでスクロールして、[Open] を選択するか、通話キーを押します。

その他のアプリケーションオプション

「*Delete*」- 本機からアプリケーション（アプリケーションセット）を削除します。

「*Details*」- アプリケーションの詳細情報が確認できます。

「*Update version*」- 最新バージョンを「*Web*」からダウンロード可能かどうかを確認できます（ネットワークサービス）。

「*Web page*」- インターネットのページからアプリケーションの詳細情報や追加のデータを入手します。この機能は、ネットワークが対応している場合に限られます。このオプションは、そのアプリケーション用にインターネットアドレスがある場合にのみ表示されます。

「*App. access*」- アプリケーションがネットワークにアクセスできないようにします。さまざまなカテゴリが表示されます。カテゴリごとに、次のアクセス権のうち１つを選択します。「*Auto-start*」を選択し、ネットワークにアクセスすることを毎回確認する場合は「*Ask every time*」、最初のみ確認する場合は「*Ask first time only*」、常に許可する場合は「*Always allowed*」、許可しない場合は「*Not allowed*」を選択します。

アプリケーションをダウンロードする

本機は J2ME™ Java アプリケーションに対応しています。ダウンロードする前に、アプリケーションが本機対応のものかどうか確認してください。

重要 : ゲームやアプリケーションをインストールする際は、そのサイトのセキュリティやコンテンツが信頼性のあるものかどうか確認してください。

新しい Java アプリケーションはさまざまな方法でダウンロードできます。

[Menu]、「*Applications*」、[Options]、「*Downloads*」、「*App. downloads*」の順に選択します。利用できるブックマークのリストが表示されます。「*Web*」メニューにあるブックマークのリストにアクセスするには、「*More bookmarks*」を選択します。ブックマークを選択し、必要なページに接続します。提供されるサービスや、料金制度、料金表については、サービスプロバイダにお問い合わせください。

[Menu] を押して、「*Web*」、「*Downloads*」の順に選択します。希望するアプリケーションまたはゲームをダウンロードします。「ファイルをダウンロードする」（P. 69）を参照してください。

ゲームのダウンロード機能を使用します。「ゲームをダウンロードする」（P. 56）を参照してください。

Nokia PC Suite の Nokia Application Installer を使用して、本機にアプリケーションをダウンロードします。

本機は、Nokia とは関連のない第三者が提供するサイトへのブックマークやリンクがあらかじめインストールされていたり、そのようなサイトへアクセスできるようになっていたりする場合があります。Nokia では、それらのサイトに対する保証は一切行っていません。このようなサイトにアクセスする場合は、他のインターネットサイトへのアクセスと同様に、セキュリティやコンテンツが信頼性のあるものかどうかをご確認ください。

アプリケーションをダウンロードすると、「*Applications*」メニューではなく、「*Games*」メニューに保存されることがあります。

15. プッシュトゥートーク

携帯電話のプッシュトゥートーク（PTT）は、GSM/GPRS 携帯電話ネットワーク上で利用可能な双方向の無線サービスです（ネットワークサービス）。PTT はダイレクトな音声通話です。接続するには、PTT キーを押します。

PTT を使用して、互換性のある機器を持つ１人の相手と会話したり、グループで会話することができます。電話が接続されると、通話相手（１人またはグループ）は電話に応答する必要はありません。会話に参加する人は、適切なところで通話を受信していることを知らせる必要があります。呼び出し音が聞えたことを知らせる機会が他にないからです。

このサービスが利用可能かどうか、料金、および契約については、ご契約されている携帯電話事業者またはサービスプロバイダにお問い合わせください。通常の電話よりも、ローミングサービスのほうが制限されている場合があります。

PTT サービスを使用する前に、必要な PTT サービスを設定する必要があります。「PTT の設定」（P. 64）を参照してください。

PTT サービスに接続している間も、ほかの電話機能を使用できます。携帯電話サービスを利用した PTT は、通常の音声通信に接続できません。したがって、通常の音声通話で利用可能なサービス（たとえば、留守番電話サービス）の多くは、携帯電話通信を利用した PTT では利用できません。

■ プッシュトゥートークメニュー

[Menu] を押して「*Push to talk*」を選択します。

- PTT への接続または接続解除を行うには、「*Switch PTT on*」または「*Switch PTT off*」を選択します。
- 受信したコールバック（電話のかけ直し）要求を見るには、「*Callback inbox*」を選択します。
- PTT グループのリストを見るには、「*Group list*」を選択します。
- サービスプロバイダから受け取った PTT アドレスに追加した連絡先のリストを見るには、「*Contacts list*」を選択します。
- 電話機に新しい PTT グループを追加するには、「*Add group*」を選択してください。
- 使用する PTT 設定を設定するには、「*PTT settings*」を選択します。
- PTT 接続用の必須設定を設定するには、「*Config. settings*」を選択します。
- ブラウザを開いて、サービスプロバイダが提供する PTT ネットワークポータルに接続するには、「*Web*」を選択します。

■ PTT に接続する / 接続を解除する

PTT サービスに接続するには、[Menu] を押し「*Push to talk*」、「*Switch PTT on*」の順に選択します。 は PTT 接続を示します。 は PTT サービスが一時的に利用不可であることを示します。本機は、PTT サービスへの接続を解除するまで、サービスへの再接続を自動的に行います。本機にグループを追加した場合、自分はアクティブなグループ（「*Default*」または「*Listened*」）に自動的に参加することになり、デフォルトグループの名前が待受モードの画面に表示されます。

PTT サービスへの接続を解除するには、「*Switch PTT off*」を選択します。

■ PTT 通話を行う

PTT 接続にスピーカーを使用するのか、ヘッドセットを使用するのかを設定します。

警告: スピーカーを使用する際には、本機を耳に近づけないでください。

PTT サービスに接続すると、ダイヤルアウト通話、グループ通話、または 1 対 1 通話を行うことができます。1 対 1 通話とは、一人の相手と通話することです。

ダイヤルアウト PTT 通話を行う

ダイヤルアウト PTT 通話では、電話帳から複数の PTT 連絡先を選択できます。受信者は、着信呼び出しを受け取ります。会話に参加するためにはその呼び出しを承諾する必要があります。ダイヤルアウト通話は一時グループを作成し、参加者は通話中のみこのグループのメンバーになります。通話が終了すると、一時ダイヤルアウトグループは削除されます。

[Menu] を押し「*Push to talk*」、「*Contacts list*」の順に選択し、ダイヤルアウト通話用の連絡先をマークします。

リスト内の連絡先の後ろに表示されるアイコンは、現在のログイン状態を示します。、、または は、応答可能（available）、公共の場所で応答可能（discreet）、応答不可（not available）のログイン状態を示します。 は、ログイン状態を利用できないことを示します。ログイン状態は、登録された連絡先にのみ利用可能です。「登録者名」（P. 32）を参照してください。

PTT キーを押すと、すぐにダイヤルアウト通話を開始できます。マークした連絡先は PTT サービスにより呼び出され、会話に参加している連絡先は画面に表示されます。PTT キーを押したままにすると、会話に参加している連絡先と話すことができます。PTT キーを放すと、相手の応答が聞こえます。

終了キーを押すと、ダイヤルアウト通話を終了します。

グループ通話を行う

デフォルトグループに電話をかけるには、PTT キーを押します。アクセスが許可されると音が鳴り、画面に自分のニックネームとグループ名が表示されます。

デフォルト以外のグループに電話をかけるには、PTT メニューの「*Group list*」を選択し、そのグループにスクロールして PTT キーを押します。

話している間は PTT キーを押し続け、画面を自分に向けて持ちます。話を終了したら、PTT キーを放します。かかった順に通話できます。通話を終了した人がいると、最初に PTT キーを押した人が次に話すことができます。

1 対 1 通話を行う

- PTT アドレスを追加してある連絡先のリストから 1 対 1 通話を開始するには、「*Contacts list*」を選択します。連絡先にスクロールして、PTT キーを押します。

  「*Contacts*」から連絡先を選択することもできます。
- PTT グループのリストから 1 対 1 通話を開始するには、「*Group list*」を選択して、希望するグループにスクロールします。[Options] を押して「*Active members*」を選択します。希望の連絡先にスクロールして PTT キーを押します。
- 受信したコールバック要求のリストから 1 対 1 通話を開始するには、「*Callback inbox*」を選択します。ニックネームにスクロールして、PTT キーを押します。

PTT 通話を受ける

グループ通話または 1 対 1 通話の呼び出しがあると、短い音が鳴ります。グループ通話を受信した場合、グループ名と相手のニックネームが表示されます。「*Contacts*」に情報を保存してある相手から 1 対 1 通話を受け取ると、保存してある名前が表示されます（名前が登録されている場合）。それ以外は、ニックネームのみが表示されます。

1 対 1 通話がかかってきた場合に通知するよう設定してある場合は、通話を承諾または拒否することができます。

グループ内の他のメンバーが会話しているときに、グループに応答しようとして PTT キーを押すと、キーを押し続けている間、待機音が聞こえ「*Queuing*」が画面に表示されます。PTT キーを押したまま、他の人が会話を終了するまで待ちます。会話が終了すると話せます。

■ コールバック要求

1 対 1 通話を行おうとして、相手から応答がなかった場合は、コールバック要求を送ることができます。

ほかの人からコールバック要求を受け取った場合は、「*Callback request received*」が待受モードの画面に表示されます。電話帳に登録されていない人からコールバック要求を受け取った場合は、その名前を「*Contacts*」に保存できます。

コールバック要求を送る

コールバック要求は次の方法で送ることができます。

- 「*Push to talk*」メニューの電話帳からコールバック要求を送るには、「*Contacts list*」を選択します。連絡先にスクロールして、[Options] を押し「*Send callback*」を選択します。
- 「*Contacts*」からコールバック要求を送るには、送り先の連絡先を検索し、[Options] を押して「*Contact details*」を選択します。次に、PTT アドレスにスクロールして、[Options] を押し「*Send callback*」を選択します。
- PTT メニューのグループリストからコールバック要求を送るには、「*Group list*」を選択し、送り先のグループにスクロールします。[Options] を押し「*Active members*」を選択します。次に、送り先の連絡先にスクロールして [Options] を押し「*Send callback*」を選択します。
- 「*Push to talk*」メニューのコールバック要求リストからコールバック要求を送るには、「*Callback inbox*」を選択します。連絡先にスクロールして、[Options] を押し「*Send callback*」を選択します。

コールバック要求に応答する

1. 「*Callback inbox*」を開くには、[View] を選択します。コールバック要求の送信者のニックネームのリストが表示されます。
2. 1 対 1 通話の電話をかけるには、PTT キーを押します。
3. コールバックの送信者にコールバック要求を送るには、[Options] を押して「*Send callback*」を選択します。

   コールバック要求を削除するには、[Delete] を選択します。

コールバック要求の送信者を保存する

1. 「*Callback inbox*」を開くには、[View] を選択します。コールバック要求の送信者のニックネームのリストが表示されます。
2. 送信者の PTT アドレスを表示するには、[Options] を押し「*View PTT address*」を選択します。

   新しい連絡先を保存したり、PTT アドレスを連絡先に追加するには、[Options] を押して「*Save as*」または「*Add to contact*」を選択します。

■1 対 1 通話の連絡先を追加する

1 対 1 通話をよく行う相手の名前は、次の方法で保存することができます。

- 「*Contacts*」の名前に PTT アドレスを追加するには、連絡先を検索して、[Options] を押し「*Add detail*」、「*PTT address*」の順に選択します。
- PTT の連絡先リストに連絡先を追加するには、[Menu] を押し「*Push to talk*」、「*Contacts list*」、[Options]、「*Add contact*」の順に選択します。
- グループリストから連絡先を追加するには、プッシュトゥートークサービスに接続して、「*Group list*」を選択し、該当するグループにスクロールします。[Options] を押して「*Active members*」を選択します。連絡先情報を保存するメンバーにスクロールして、[Options] を選択します。新しい連絡先を追加するには、「*Save as*」を選択します。PTT アドレスを「*Contacts*」に登録されている名前に追加するには、「*Add to contact*」を選択します。

■グループを作成して設定する

グループに電話をかけると、そのグループに属するすべてのメンバーが同時に呼び出されます。

グループ内の各メンバーはニックネームで識別され、発信者 ID として表示されます。グループメンバーは、各グループで自分のニックネームを選ぶことができます。

グループは URL アドレスで登録されます。ユーザは、最初にグループセッションに参加することでネットワークのグループ URL を登録します。

PTT グループには 3 つのタイプがあります。

- プロビジョングループ（Provisioned Group）とは、サービスプロバイダによって提供される限定グループで、指定された参加者のみがこのグループに参加できます。
- アドホックグループ（Ad hoc Group）とは、ユーザが作成できるグループです。自分のグループを作成したり、グループにメンバーを招待することができます。
- アドホックプログループ（Ad hoc pro Group）は、プロビジョングループのメンバーからグループを作成できます。たとえば、ビジネスは限定グループと、特定のビジネス機能のために作成した別のグループを持つことができます。

グループを追加する

1. [Menu] を押して「*Push to talk*」、「*Add group*」、「*Guided*」の順に選択します。
2. グループのセキュリティレベルを設定するには、「*Public group*」または「*Private group*」を選択します。

「*Private group*」を選択した場合は、グループアドレスの一部が自動的に暗号化され、メンバーはグループへの招待を受け取ったときにそのアドレスを見ることができません。グループにメンバーを招待できるのは、その非公開グループを作成した人だけです。

3. グループの名前を入力して、[OK] を選択します。
4. 「*Default*」、「*Listened*」、または「*Inactive*」を選択します。グループが保存されたことと、そのステータスが画面に表示されます。「*Default*」、および「*Listened*」がアクティブグループです。グループ通話を行うために PTT キーを押すと、デフォルトグループが呼び出されます(ほかのグループや連絡先を選択していない場合)。
5. グループに招待状を送るには、それを要求するメッセージが表示されたときに [Yes] を選択します。招待状は文字メッセージまたは赤外線通信を使用して送信できます。
公開グループに招待したメンバーは、さらに別のメンバーをグループに招待できます。

招待状を受け取る

1. グループへの文字メッセージの招待状を受け取ると、「*Group invitation received:*」が表示されます。
2. その招待状の送信者のニックネームとグループアドレス(非公開グループでない場合)を表示するには、[View] を選択します。
3. 本機にグループを登録するには、[Save] を選択します。グループのステータスを設定するには、「*Default*」、「*Listened*」、または「*Inactive*」を選択します。

招待を拒否するには、[Exit]、[Yes] の順に選択するか、[View]、[Discard]、[Yes] の順に選択します。

■ PTT の設定

PTT の設定は 2 種類あります。サービスに接続するための設定と使用するための設定です。

サーバの接続に必要な設定は、携帯電話事業者またはサービスプロバイダから受信することができます。「設定サービス」(P. xiv) を参照してください。設定は手作業で入力できます。「構成の設定」(P. 42) を参照してください。

サービスに接続するための設定を選択するには、[Menu] を押し「*Push to talk*」、「*Config. settings*」の順に選択します。次のオプションが表示されます。

「*Configuration*」- PTT サービスのサービスプロバイダを選択するには、「*Default*」または「*Personal config.*」を選択します。PTT サービスに対応している設定だけが表示されます。

「*Account*」- 有効な設定に含まれる PTT サービスのアカウントを選択します。

（「*Push to talk user name*」、「*Default nickname*」、「*Push to talk password*」、「*Domain*」、および「*Server address*」）。

使用するPTT設定を編集するには、[Menu]を押し「*Push to talk*」、「*PTT settings*」の順に選択します。

かかってきた1対1通話の着信を許可する電話機を選択するには、「*1 to 1 calls*」、「*On*」の順に選択します。1対1通話の電話をかけられるようにし、着信はできないようにする場合は、「*Off*」を選択します。サービスプロバイダによって、これらの設定を無効にするいくつかの設定が提供される場合があります。1対1通話がかかってきたら最初に音で通知するよう設定するには、「*Notify*」を選択します。

リッスングループ（Listened Group）を有効にするには、「*Listened groups*」、「*On*」の順に選択します。

電話機の電源を入れると自動的にPTTサービスに接続するように設定するには、「*Push to talk status in startup*」、「*Yes*」の順に選択します。

グループおよび1対1通話で自分のPTTアドレスを非表示にするには、「*Send my push to talk address*」、「*No*」の順に選択します。

16. ウェブ

本機では、さまざまなモバイルインターネットサービスにアクセスできます。

重要: サービスにアクセスする際は、セキュリティやコンテンツが信頼性のあるものかどうか確認してください。

このようなサービスを利用できるかどうか、そして、その価格、料金、および操作方法については、サービスプロバイダにお問い合わせください。

本機のブラウザでは、WML(Wireless Markup Language)またはXHTML(eXtensible HyperText Markup Language)で作成されたサービスを表示できます。ページの外観は画面のサイズによって変わる場合もあります。インターネットのページは細部を一部表示できない場合もあります。

■ ブラウザを設定する

ブラウザに必要な設定は、使用するサービスを提供する携帯電話事業者またはサービスプロバイダから設定メッセージとして受信することができます。「設定サービス」(P. xiv)を参照してください。すべての構成設定は手作業で入力することも可能です。「構成の設定」(P. 42)を参照してください。

■ サービスに接続する

最初に使用したいサービスの設定が正しく有効であることを確認します。

1. サービスに接続するための設定を選択するには、[Menu] を押し「*Web*」、「*Settings*」、「*Configuration settings*」の順に選択します。
2. 「*Configuration*」を選択します。閲覧サービスに対応している設定だけが表示されます。閲覧に使用するサービスプロバイダ、「*Default*」、または「*Personal config.*」を選択します。「ブラウザを設定する」(P. 66)を参照してください。

   有効な設定に含まれている「*Account*」と閲覧サービスを選択します。

   インターネット接続のユーザ認証を手作業で実行するには、「*Display terminal window*」、「*Yes*」の順に選択します。

次に、サービスに接続するための方法を次の中から選択します。

- [Menu] を押し「*Web*」、「*Home*」の順に選択するか、待受モードでは、**0** を長く押します。
- サービスのブックマークを選択するには、[Menu] を押し「*Web*」、「*Bookmarks*」の順に選択します。

- 最後の URL を選択するには、[Menu] を押し「*Web*」、「*Last web address*」の順に選択します。
- サービスのアドレスを入力するには、[Menu] を押し「*Web*」、「*Go to address*」の順に選択して、サービスのアドレスを入力し、[OK] を選択します。

■ ページを閲覧する

サービスに接続した後、そのページの閲覧を開始できます。本機のキーの機能はサービスによって変わります。本機の画面に表示されるガイドに従ってください。詳細は、サービスプロバイダにお問い合わせください。

データ転送方法としてパケットデータが選択されている場合、閲覧中、が画面の左上に表示されます。パケットデータ接続中に電話またはテキストメッセージを受けた場合、または電話をかけた場合、が画面の右上に表示されて、パケットデータ接続が中断していることを示します。通話が終了した後、本機は再びパケットデータ接続を行います。

キーを使って閲覧する

ページを閲覧するには、ナビゲーションキーを使用します。

強調表示されたアイテムを選択するには、通話キーを押すか、[Select] を選択します。

文字や数字を入力するには、**0** から **9** までのキーを押します。特殊な文字を入力するには、「*****」を押します。

閲覧中のオプション

Nokia.com、「*Home*」、「*Add bookmark*」、「*Bookmarks*」、「*Page options*」、「*History*」、「*Downloads*」、「*Other options*」、「*Reload*」、および「*Quit*」が利用可能です。サービスプロバイダによっては別のオプションがある場合があります。

キャッシュとは、データを一時的に保存するために使用する場所です。パスワードを必要とする機密情報にアクセスを試みたり実際にアクセスしたりした場合は、そのたびにキャッシュをクリアしてください。アクセスした情報やサービスは、本機のキャッシュメモリに保存されています。

キャッシュを空にする方法については、「キャッシュメモリ」（P. 70）を参照してください。

電話をかける

このブラウザでは、ページの閲覧中に別の機能を使用することができます。電話をかける、通話中にプッシュトーン（DTMF tone）を送信する、閲覧中のページにある名前や電話番号を保存することなどができます。

■ ブラウザの表示設定

閲覧中、[Options] を押し「*Other options*」、「*Appear. settings*」の順に選択するか、待受モードでは、[Menu] を押し「*Web*」、「*Settings*」、「*Appearance settings*」の順に選択します。次のオプションが表示されます。

「*Text wrapping*」、「*On*」の順に選択 - 画面からはみ出るテキストを折り返して、次の行に表示されるように設定します。「*Off*」を選択した場合、画面からはみ出るテキストは表示されません。

「*Font size*」を選択し、「*Extra small*」、「*Small*」、または「*Medium*」を選択 - フォントのサイズを設定します。

「*Show images*」、「*No*」の順に選択 - ページにある画像を表示しません。画像がたくさんあるページの閲覧が速くなります。

「*Alerts*」、「*Alert for unsecure connection*」、「*Yes*」の順に選択 - 閲覧中、暗号化されている接続が暗号化されていない接続に変わると警告を鳴らすように設定します。

「*Alerts*」、「*Alert for unsecure items*」、「*Yes*」の順に選択 - 暗号化されているページに安全でないアイテムが含まれている場合に警告を鳴らすように設定します。このような警告は安全な接続を保証するものではありません。詳細については、「ブラウザのセキュリティ」（P. 71）を参照してください。

「*Character encoding*」、「*Content encoding*」の順に選択 - ブラウザのページで表示されるコンテンツの文字コードを選択します。

「*Character encoding*」、「*Unicode (UTF-8) web addresses*」、「*On*」の順に選択 - URL を UTF-8 文字コードとして送信するように設定します。この設定は、外国語で作成されたウェブページにアクセスするときに必要です。

■ クッキー

クッキーとは、サイトが本機のキャッシュメモリに保存するデータのことです。クッキーはキャッシュメモリをクリアするまで保存されます。「キャッシュメモリ」（P. 70）を参照してください。

閲覧中、[Options] を押し「*Other options*」、「*Security*」、「*Cookie settings*」の順に選択するか、待受モードで、[Menu] を押し「*Web*」、「*Settings*」、「*Security settings*」、「*Cookies*」の順に選択します。クッキーの受け入れを許可または拒否するには、「*Allow*」または「*Reject*」を選択します。

■ 安全な接続上のスクリプト

安全なページ上のスクリプトの実行を許可するかどうかを選択できます。本機は WML スクリプトに対応しています。

1. 閲覧中、[Options] を押し「*Other options*」、「*Security*」、「*Script settings*」の順に選択するか、待受モードでは、[Menu] を押し「*Web*」、「*Settings*」、「*Security settings*」、「*Scripts over secure connection*」の順に選択します。
2. スクリプトの実行を許可するには、「*Allow*」を選択します。

■ ブックマーク

ページのアドレスを本機のメモリにブックマークとして保存することができます。

1. ページ閲覧中に、[Options] を押し「*Bookmarks*」を選択するか、待受モードで [Menu] を押し「*Web*」、「*Bookmarks*」の順に選択します。
2. ブックマークのページにアクセスするには、ブックマークにスクロールして、それを選択するか、通話キーを押します。
3. ブックマークを表示、編集、削除、または送信したり、新しいブックマークを作成したり、ブックマークをフォルダに保存するには、[Options] を選択します。

本機は、Nokia とは関連のない第三者が提供するサイトへのブックマークやリンクがあらかじめインストールされていたり、そのようなサイトへアクセスできるようになっていたりする場合があります。Nokia では、それらのサイトに対する保証は一切行っていません。このようなサイトにアクセスする場合は、他のインターネットサイトへのアクセスと同様に、セキュリティやコンテンツが信頼性のあるものかどうかをご確認ください。

ブックマークを受信する

ブックマークとして送信されたブックマークを受信すると、「*1 bookmark received*」が表示されます。受信したブックマークを保存するには、[Show]、[Save] の順に選択します。ブックマークを表示または削除するには、[Options] を押し、「*View*」または「*Delete*」を選択します。受信したブックマークを受信直後に削除するには、[Exit]、[OK] の順に選択します。

■ ファイルをダウンロードする

着信音、画像、ゲーム、またはアプリケーションを本機にダウンロードするには（ネットワークサービス）、[Menu] を押し「*Web*」、「*Downloads*」の順に選択して、「*Tone downloads*」、「*Graphic downloads*」、「*Game downloads*」、「*Video downloads*」、「*Theme downloads*」、または「*App. downloads*」を選択します。

重要: ゲームやアプリケーションをインストールする際は、そのサイトのセキュリティやコンテンツが信頼性のあるものかどうか確認してください。

ダウンロードしたすべてのファイルを自動的に「*Gallery*」もしくは「*Applications*」フォルダに保存するには、[Menu] を押し「*Web*」、「*Settings*」、「*Downloading settings*」、「*Automatic saving*」、「*On*」の順に選択します。

■ サービス受信ボックス

本機は、サービスプロバイダから送信されたサービスメッセージ(プッシュメッセージ)を受信できます(ネットワークサービス)。サービスメッセージとは、たとえば、ニュースのヘッドライン通知のことで、サービスの文字メッセージやアドレスが入っています。

待受モードで「*Service inbox*」にアクセスするには、サービスメッセージを受信したときに、[Show] を選択します。[Exit] を選択すると、メッセージは「*Service inbox*」に移動されます。その後で「*Service inbox*」にアクセスするには、[Menu] を押し「*Web*」、「*Service inbox*」の順に選択します。

閲覧中に「*Service inbox*」にアクセスするには、[Options] を押し「*Other options*」、「*Service inbox*」の順に選択します。該当のメッセージにスクロールします。ブラウザを起動して、マークしたコンテンツをダウンロードするには、[Retrieve] を選択します。サービス通知の詳細情報を表示したり、メッセージを削除するには、[Options] を押し、「*Details*」または「*Delete*」を選択します。

サービス受信ボックスの設定

[Menu] を押し「*Web*」、「*Settings*」、「*Service inbox settings*」の順に選択します。

サービスメッセージを本機で受信するかどうかを設定するには、「*Service messages*」を選択して、「*On*」または「*Off*」を選択します。

サービスプロバイダが承認したコンテンツ作成者のサービスメッセージだけを本機で受信するように設定するには、「*Message filter*」、「*On*」の順に選択します。承認されているコンテンツ作成者のリストを表示するには、「*Trusted channels*」を選択します。

待受モードでサービスメッセージを受信したときに、自動的にブラウザを起動するように設定するには、「*Automatic connection*」、「*On*」の順に選択します。「*Off*」を選択した場合、ブラウザを起動するには、サービスメッセージを受信した後に、「*Retrieve*」を選択します。

■ キャッシュメモリ

キャッシュとは、データを一時的に保存するために使用する場所です。パスワードを必要とする機密情報にアクセスを試みたり実際にアクセスしたりした場合は、そのたびにキャッシュをクリアしてください。アクセスした情報やサービスは、本機のキャッシュメモリに保存されています。

閲覧中にキャッシュを空にするには、[Options] を押し「*Other options*」、「*Clear the cache*」の順に選択します。待受モードでキャッシュを空にするには、[Menu] を押し「*Web*」、「*Clear the cache*」の順に選択します。

■ 位置情報

ネットワークから位置要求が送られてくる場合があります。ネットワークが本機の位置情報を配信するのは、それを許可した場合のみです（ネットワークサービス）。位置情報配信のお申し込みおよび同意については、携帯電話事業者またはサービスプロバイダにお問い合わせください。

位置要求を受諾または拒否するには、[Accept] または [Reject] を選択します。位置要求に気が付かなかった場合は、携帯電話事業者またはサービスプロバイダと合意した内容に従い自動的に要求を受諾または拒否します。気が付かなかった場合は「*1 missed position request*」が画面に表示されます。気が付かなかった位置要求を表示するには [Show] を選択します。

最近の 10 個の非公開通知または要求に関する情報を表示したり、それらを削除するには、[Menu] を押し「*Web*」、「*Positioning*」、「*Position log*」の順に選択して、「*Open folder*」または「*Delete all*」を選択します。

■ ブラウザのセキュリティ

オンラインバンキングやオンラインショッピングなどのサービスには、セキュリティ機能が必要です。このような接続には、セキュリティ証明書とセキュリティモジュール（SIM カードで提供）が必要になります。詳細は、サービスプロバイダにお問い合わせください。

セキュリティモジュール

セキュリティモジュールは、ブラウザ接続が必要なアプリケーションのセキュリティサービスを強化して、デジタル署名を使用できるようにします。セキュリティモジュールには、非公開鍵と公開鍵のほかに証明書が含まれている場合があります。証明書は、サービスプロバイダによってセキュリティモジュールに保存されます。

[Menu] を押し「*Web*」、「*Settings*」、「*Security settings*」、「*Security module settings*」の順に選択して、次のオプションから選択します。

「*Security module details*」- セキュリティモジュールのタイトル、ステータス、作成者、およびシリアル番号を表示します。

「*Module PIN request*」- セキュリティモジュールが提供するサービスを使用するときに、モジュール PIN の入力を要求するように設定します。コードを入力して、「*On*」を選択します。モジュール PIN の入力を要求しない場合は、「*Off*」を選択します。

「*Change module PIN*」- モジュール PIN を変更します（セキュリティモジュールで許可されている場合のみ）。現在のモジュール PIN コードを入力して、次に、新しいコードを 2 回入力します。

「*Change signing PIN*」- デジタル署名用の署名付き PIN コードを変更します。変更したい署名付き PIN コードを選択します。現在の PIN コードを入力して、次に、新しいコードを 2 回入力します。

「アクセスコード」（P. xiii）を参照してください。

証明書

重要 : 証明書を使用することで、リモート接続やソフトウェアインストールに関わるリスクを大幅に軽減できますが、強化されたセキュリティを有効に活用するには証明書を正しく使用する必要があります。証明書が存在しても、それだけで保護されるわけではありません。強化されたセキュリティを有効にするには、認証済みの信頼できる正しい証明書が証明書管理に格納されている必要があります。証明書には有効期限があります。証明書が有効であるはずなのに、失効した証明書や有効になっていない証明書が表示される場合は、本機の現在の日時が正しいかどうかを確認してください。

証明書の設定を変更する前に、証明書の所有者が本当に信頼できるか、また、証明書がリストされている所有者に本当に属しているのかを確認する必要があります。

証明書には 3 つの種類があります。サーバ証明書、認証機関証明書、そしてユーザ証明書です。これらの証明書はサービスプロバイダから送信されます。認証機関証明書とユーザ証明書は、サービスプロバイダによってセキュリティモジュールにも保存されます。

本機にダウンロードされている認証機関証明書とユーザ証明書のリストを表示するには、[Menu] を押し「*Web*」、「*Settings*」、「*Security settings*」を選択して、「*Authority certificates*」または「*User certificates*」を選択します。

接続中にセキュリティアイコン が表示されると、本機とコンテンツサーバ間のデータ転送が暗号化されていることを意味します。

セキュリティアイコンは、ゲートウェイとコンテンツサーバ（要求されたリソースが保存される場所）間のデータ伝送が安全であることを示すものではありません。ゲートウェイとコンテンツサーバの間のデータ伝送を保証するのは、サービスプロバイダです。

デジタル署名

SIMカードにセキュリティモジュールが保存されている場合、本機でデジタル署名を行うことができます。デジタル署名は、請求書や契約書などの紙の書類に署名するのと同じ行為とみなされます。

デジタル署名を行うには、まず、ページ上のリンク、たとえば、購入したい本のタイトルや価格を選択します。署名する文章が表示されます。この文章には、数量や日付などが含まれています。

ヘッダー文字が「*Read*」であり、デジタル署名アイコン が表示されていることを確認します。

デジタル署名アイコンが表示されないときは、セキュリティ違反が存在するため、署名 PIN など、いかなる個人データも入力しないでください。

文章に署名するには、まず、テキストをすべて読んで、[Sign] を選択します。

テキストは一画面に収まらない場合もあります。署名する前に、スクロールしながらすべてのテキストを読んでください。

使用するユーザ証明書を選択します。署名付き PIN を入力して（「アクセスコード」（P. xiii）を参照）、[OK] を選択します。デジタル署名アイコンが消えて、購入の確認が表示されます。

17. SIM サービス

本機の機能の他に、SIM カードが提供するサービスも使用できます。このメニューはSIM カードが対応している場合のみ表示されます。メニューの名前と内容はSIM カードによって異なります。

SIM カードサービスのご利用に関する情報は、SIM カードの取扱業者までお問い合わせください。取扱業者にはサービスプロバイダなどがあります。

SIM サービスを使用するときに、本機とネットワーク間で送信される確認メッセージを表示するように設定するには、[Menu] を押し「*Settings*」、「*Phone*」、「*Confirm SIM service actions*」、「*Yes*」の順に選択します。

SIMサービスには、メッセージの送信や電話の発信が含まれる場合があります。その際に発生する通信または通話料金は有料となる場合があります。

18. パソコンとの接続について

赤外線接続またはデータケーブル（CA-42）で本機を互換性のあるパソコンに接続すると、E-mail の送受信やインターネットへのアクセスを行うことができます。本機はさまざまなパソコンやデータ通信アプリケーションと連携して使用できます。

■ Nokia PC Suite

Nokia PC Suite を使用すると、本機と互換性のあるパソコン、またはリモートのインターネットサーバ（ネットワークサービス）の間で、「*Contacts*」、「*Calendar*」、「*To-do list*」および「*Notes*」の同期を取ることができます。

詳しい情報やファイルのダウンロードなどについては、Nokia のウェブサイトの PC Suite のページ（www.nokia.co.jp/pcsuite）にアクセスしてください。

■ パケットデータ、HSCSD、および CSD

本機では、パケットデータ、HSCSD（High-Speed Circuit Switched Data）、および CSD（Circuit Switched Data、「*GSM data*」）を使用できます。

データサービスを利用できるかどうかや申し込み方法については、携帯電話事業者またはサービスプロバイダにお問い合わせください。

HSCSD サービスを使用すると、通常の音声またはデータの通信時よりも電池の消耗が早くなります。データ転送中、本機を充電器に接続する必要がある場合があります。

「パケットデータ（EGPRS）」（P. 41）を参照してください。

■ データ通信アプリケーション

データ通信アプリケーションの使用方法については、そのアプリケーションに付属のマニュアルを参照してください。パソコンとの接続中に電話を受けたりかけたりすると、その操作が中断される可能性があるので推奨されません。データ通信中の性能を上げるため、本機は水平な場所に、キーがある面を下にして置いてください。データ通信中は、本機を手で持って動かしたりしないでください。

19. 電池について

■ 充電と放電

本機は、充電できる電池を電源として使用しています。電池は数百回充電と放電を繰り返すことができますが、次第に消耗します。使用時間（通話時間と待受時間）が通常より極端に短くなった場合は、電池を取り替えてください。Nokia 認定の電池以外は使用しないでください。また、Nokia 認定の充電器以外を用いて電池の充電をしないでください。

交換した電池を初めて使用する場合、または電池が長期間使用されていなかった場合は、場合によっては、充電を開始するのに、充電器を取り付けた後、いったん取り外してから再度取り付ける必要があります。

充電器を使用していないときは、電気プラグからプラグを抜き、本機からも取り外してください。過充電は、電池の寿命を短くする場合がありますので、充電が完了した電池を充電器に接続したまま放置しないでください。完全に充電された電池は使用しなくても徐々に放電します。

電池が完全に放電されている場合は、充電中を示すインジケータが画面に表示されるまで、または通話ができるようになるまで、数分かかる場合があります。

本来の目的以外にこの電池を使用しないでください。損傷した充電器または電池を絶対に使用しないでください。

電池をショートさせないでください。金属物（コイン、クリップ、またはペン）が電池の金属部分のプラス端子およびマイナス端子（電池の金属部分）に直接接続した場合、偶発的に電池がショートすることがあります。このような事故は、ポケットまたは財布に予備のバッテリーを携帯している場合などに起こる可能性があります。端子をショートさせると、電池または接続物が損傷することがあります。

夏の閉め切った車中や寒い冬の日など、高温または低温の場所に電池を放置しておくと、電池の容量と寿命が短くなります。電池は常に 15℃ ～ 25 ℃（59 °F ～ 77 °F）の温度範囲で保管するようにしてください。高温または低温状態の電池は、完全に充電されていても取り付けたときに一時的に本機が動作しない場合があります。0 ℃ 以下では、電池の性能が著しく制限されます。

爆発する可能性があるため、火の中へは絶対に電池を投げ込まないでください。電池が損傷した場合も、爆発の恐れがあります。電池は、国内の規定に従って廃棄してください。可能な場合はリサイクルしてください。家庭の一般廃棄物として処分しないでください。

携帯電話や電池を分解したり、切断したりしないでください。電池の液体が漏れた場合、その液体が肌や目に触れないようにしてください。電池の液が肌または目に触れた場合、直ちに水で洗い流すか、医師の診察を受けてください。

重要: 電池の通信待機可能時間はあくまでも推定値であり、信号強度、ネットワークの状態、使用する機能、電池の寿命と状態、電池がさらされている温度、デジタル モードでの使用、およびその他の多くの要因によって変化します。本機を通話で使用する合計時間が、スタンバイ時間に影響します。同様に、本機の電源が入った状態で、待受画面になっている合計時間が、本機で会話できる時間に影響します。

■ Nokia 純正電池の認証確認

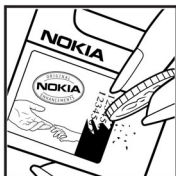
安全のため、必ず Nokia 純正電池をお使いください。Nokia 純正電池を確実に入手できるよう、電池は Nokia の指定販売店から購入してください。パッケージの Nokia Original Enhancements ロゴを確認し、次の手順に従って電池のホログラムラベルを確認してください。

次の手順どおりに確認しても、電池の認定が必ず保証されるわけではありません。電池が Nokia Original Enhancements 認定を受けていない疑いがある場合は、直ちに使用を中止し、ハローノキア (0570-0-66542) にご相談ください。

認証ホログラムでの確認方法

1. 電池に付いているホログラムのラベルを確認します。見る角度に応じて、2 つの手のイラストまたは Nokia Original Enhancements ロゴが映し出されます。

2. ホログラムを傾けると、ロゴの周囲にドットが見えます。ドットは、ロゴの左側に1つ、右側に2つ、下に3つ、上に4つあります。

3. ラベルのスクラッチ部分を削って電池に付いている20桁の認証コードを確認します（例：12345678919876543210）。20桁の認証コードは、上の段の数字に下の段の数字を続けたものです。

4. 20桁のコードが有効なものかどうかは、www.nokia.co.jp/batterycheck にあるインストラクションで確認できます。

SMS（ショートメッセージ）に20桁のコード（例：12345678919876543210）を入力し、宛先「+61 427151515」に送信します。SMSの通信には、通信事業者のSMS料金がかかります。

SMSを送信後、認証コードが有効かどうかを知らせるメッセージが返信されます。

（注1）：通信事業者によってはSMSによる確認を行うことが出来ない場合があります。

電池が認定を受けていない場合

ご使用になられている電池のホログラムラベルで、Nokia純正電池の認証が確認できなかった場合は、電池の使用を中止してください。製造者の承認を受けていない電池の使用は危険な場合があり、性能の劣化および機器やアクセサリの破損に及ぶ場合もあります。また、機器の認証や保証が無効となる場合があります。

Nokia 純正電池について詳しくは、www.nokia.co.jp/batterycheck を参照してください。

SMSによる認証コードの確認および送信された携帯電話番号等の個人情報の管理はノキアのオーストラリア法人（NOKIA AUSTRALIA PTY LTD）およびシンガポール法人（NOKIA PTE LTD）にて行います。

ノキア製品の安全・安心な使用のため、非純正電池をお使いの場合には、ノキアよりお客様にご連絡を差し上げる場合もございますのであらかじめご了承ください。

20. アクセサリ

本機でご利用いただけるアクセサリのバリエーションがさらに広がりました。お客様のニーズに合わせてアクセサリをお選びください。

本機に対応するアクセサリについて､いくつかここでご紹介します。

アクセサリのご使用にあたっては、次の注意事項をお守りください。

アクセサリおよび拡張コンポーネントに関する使用上の注意

- すべてのアクセサリおよび拡張コンポーネントは、小さなお子様の手の届くところに置かないでください。
- アクセサリまたは拡張コンポーネントの電源コードを外すときは､コードではなくプラグを持って引き抜いてください。
- 車内の携帯電話機器は､適切に取り付けられ､正常に動作しているか定期的に確認してください。
- 複雑な車内用アクセサリの取り付けは､資格のある担当者だけが行うことができます。

本機を使用する際には、Nokia が認定した電池、充電器およびアクセサリのみを使用してください。これ以外の機器を使用すると、本機に対する認定あるいは保証の対象外となるだけでなく、事故などが起こる場合があります。

補聴器の互換性

警告：補聴器との互換性を維持するには、Bluetooth 接続をオフにする必要があります。

■ 電池パック

型番	使用	連続通話時間 *	連続待受時間 *
BL-4C	リチウムイオン	4 時間（最大）	300 時間（最大）

* SIM カード､ネットワークおよび使用設定、使用方法、環境によって、連続通話時間および連続待受時間が異なる場合があります。FM ラジオやハンズフリーの使用は、連続通話時間と連続待受時間に影響します。

■ 充電器

Compact Charger AC-4

充電プラグの小さい、コンパクトで軽い充電器です。

21. お手入れとメンテナンス

本機の製造には、優れたデザインと技術が採用されています。お取り扱いには十分ご注意ください。保証の対象範囲をお守りいただけるよう、次の記載事項をお読みください。

- 湿気のある場所に置かないでください。雨水、湿気、および液体はミネラルを含み、電気回路を腐食させます。本機が濡れた場合、電池を取り外し、本機を完全に乾かしてから取り付けてください。
- ほこりが多く、清潔でない場所で使用または保管しないでください。電話機の可動部と電子部品が損傷することがあります。
- 高温の場所で保管しないでください。高温状態では、電子機器の寿命を短くするだけでなく、電池が損傷したり、特定のプラスチック部品が変形したり、溶けたりする原因となります。
- 低温の場所で保管しないでください。電話機を通常の温度まで暖めると、本体の内部に結露が発生し、電気回路基板に損傷をきたすことがあります。
- 本書で指示された以外の方法で本機を分解しないでください。
- 本機を落としたり、たたいたり、振ったりしないでください。手荒に取り扱うと、内部の回路基板と優れた構造に損傷をきたすことがあります。
- 本機のお手入れをする場合、刺激の強い化学薬品、洗浄液、または強い洗剤を使用しないでください。
- 本機を塗装しないでください。塗装すると装置の可動部を詰まらせ、適切に動作しなくなることがあります。
- レンズ（カメラレンズ、近接センサー、ライトセンサーレンズ等）のお手入れには、柔らかくて清潔な、乾いた布をお使いください。
- 付属の、または Nokia が認定した交換アンテナのみを使用してください。無許可のアンテナ、改造、付属品の取り付けは、電話機の損傷の原因となり、無線装置についての規定に違反する場合があります。
- 充電器は屋内で使用してください。
- 電話帳やカレンダーノートなど保存しておきたいデータは必ずバックアップを取ってください。
- 最適な動作状態を保つために本機をリセットする場合は、本機の電源を切ってから電池を取り外してください。

これらの注意事項は、電話機の本体、電池、充電器、またはその他のアクセサリすべてに適用されます。適切に動作しない機器がある場合は、最寄りの有資格サービス施設にサービスを依頼してください。

22. 安全についての追加情報

■ 小さなお子様

本機やアクセサリには、小さな部品が使用されています。小さなお子様の手の届くところに置かないでください。

■ 操作環境

本機は、人体から最低 2.2cm 離した位置で使用された場合と、通常の耳元での操作位置で使用された場合に電波防護指針のガイドラインに適合します。本機をキャリーケース、ベルトクリップ、またはホルダーとともに人体に身に付ける場合は、金属製物質と一緒に身に付けず、本機が身体から最低 2.2cm 離れたところに位置するようにしてください。

本機でデータファイルやメッセージを送信する場合、高品質のネットワーク接続が必要です。場合によっては、高品質のネットワーク接続が利用可能になるまで、データ ファイルやメッセージの送信が遅れることがあります。送信が完了するまで、本機が身体から 2.2cm 離れていることを確認してください。

本機は磁気部品を使用しており、金属物が本機に引き寄せられる場合があります。本機の近くにクレジットカードや、その他の磁気記憶媒体を置かないでください。記憶された情報が消去されてしまうことがあります。

■ 医療機器

携帯電話を含む無線送信機の動作は、十分に保護されていない医療機器の機能を妨害する可能性があります。医療機器が外部の電波から十分に遮蔽されているかを判断する際、またはご不明な点がありましたら、医師または医療機器メーカーにご相談ください。医療施設などで本機の電源を切るよう規則が掲示してある場合は、その指示に従ってください。病院または医療施設では、外部の電波に対して感度の高い電気医療機器を使用している場合があります。

ペースメーカー

ペースメーカー製造業者は、ペースメーカーの誤作動を防ぐため、携帯電話をペースメーカーから 15.3cm 以上離すことを勧めています。以下の勧告は、「Wireless Technology Research」が独自に行った研究に基づいて推奨されるものです。ペースメーカーを装着されている方は、次の事項を守ってください。

- 本機の電源が入っているときは、常に本機をペースメーカーから 15.3cm 以上離してください。
- 胸ポケットに本機を入れて持ち運ぶのはおやめください。
- ペースメーカーの誤作動を最小限にするため、ペースメーカーを装着している側の反対の耳で本機をご使用ください。

ペースメーカーの誤作動が少しでも感じられた場合は、すぐに本機の電源を切り、本機を離れた場所に置いてください。

補聴器

デジタル無線機が一部の補聴器の動作を干渉する場合があります。万が一、そのような干渉があった場合は、ご契約されているサービスプロバイダまでご相談ください。

■ 乗り物

電波は、適切に取り付けられていない、または十分に遮蔽されていない自動車の電子装置（電子燃料噴射システム、電子アンチロックブレーキ装置、電子速度制御装置、およびエアバック装置など）に影響を与える場合があります。詳しい情報につきましては、自動車および追加装備した装置のメーカー、または代理店にご確認ください。

資格を有するスタッフ以外は、本機の修理、または自動車への本機の取り付けをしないでください。誤った取り付けや修理は危険を伴うことがあるだけでなく、本機に適用されるすべての保証が無効になる場合があります。車内の無線機は、適切に取り付けられ、正常に動作していることを定期的に確認してください。可燃性の液体、ガス、または爆発性物質を、本機、その部品、またはアクセサリと一緒に車内に保管、または持ち運ばないでください。エアバックを装備した自動車では、エアバックが強い力で膨らみます。エアバックの上の部分、またはエアバックが膨らむ範囲に、固定無線機と移動無線機の両方を含めて、物を置かないでください。車内の無線機が適切に取り付けられていない場合、エアバックが膨らんだときに重傷を負うことがあります。

飛行中に本機を使用することは禁止されています。航空機に搭乗する前に本機の電源を切ってください。航空機内で携帯電話を使用すると、航空機の操作に危険をもたらし、無線通信が混信する原因にもなります。また機内での携帯電話の使用は違法となる場合もあります。

■ 爆発の危険がある場所

爆発の危険がある場所では、本機の電源を切り、すべての標識や指示に従ってください。爆発の危険がある場所とは、通常自動車のエンジンを停止するよう指示されている場所を含みます。そのような場所で発生する火花は、爆発または火災の原因となり、怪我や死につながる恐れがあります。ガソリンスタンドのガソリンポンプの近くといった給油地点では、本機の電源を切ってください。給油箇所、燃料貯蔵、燃料販売場所、化学工場、または爆破作業が行われている現場での無線機の使用に関する規制に従ってください。爆発の危険がある場所は、たいていの場合は明確に表示されていますが、常にそうであるとは限りません。そのような場所としては、船のデッキの下、化学物質の搬送または保管施設、液化石油ガス(プロパンまたはブタン等)を使用する自動車、大気中に結晶粒、ほこり、または金属粉末といった化学物質または微粒子が含まれる場所があります。

■ 緊急通報

重要: 他の携帯電話と同じように、本機は無線信号、無線ネットワーク、有線ネットワーク、およびお客様によってプログラムされた機能も使用しているため、すべての条件で接続を保証できるものではありません。従って、救急車を呼ぶ場合といった非常に重要な連絡には、無線機だけに頼らないようにしてください。

緊急電話番号に電話をかけるには

1. 本機の電源が入っていない場合は、電源を入れます。電波が十分に届いていることを確認してください。

   ネットワークによっては、有効な SIM カードを電話機に挿入するよう要求される場合があります。

2. 必要な数だけ終了キーを押して画面をクリアし、電話がかけられる状態にします。
3. 現在いる地域の緊急電話番号を入力します。地域によって緊急電話番号は異なります。
4. 通話キーを押して電話をかけます。

使用中の機能によっては、緊急電話番号に電話をかける前に機能を終了する必要があります。本機がオフラインモードまたはフライトモードの状態で緊急電話番号に電話をかけるには、モードを変更して電話の機能を有効にする必要があります。詳細は本書を参照の上、ご契約されているサービスプロバイダにお問い合わせください。

使用中の機能によっては、緊急電話番号に電話をかける前に機能を終了する必要があります。詳細は本書を参照の上、ご契約されているサービス プロバイダにお問い合わせください。

緊急電話番号に電話をかける場合、必要な情報をできる限り正確に伝えることを心がけてください。事故現場では、お客様の無線機が唯一の通信手段となる場合があります。指示があるまでは電話を切らないでください。

■ 証明情報 - 携帯電話機の比吸収率（SAR）

このモデルの携帯電話は、電波防護指針に適合しています。

本機は無線送受信機です。本機は、国際ガイドライン推奨の電波暴露限度を超えないよう設計されています。これらのガイドラインは、独立科学機関 ICNIRP によって策定されており、年齢や健康状態に関係なく、すべての人の安全を確保するのに十分な安全率を含んでいます。携帯電話の電波防護指針には、SAR（比吸収率）という測定単位を採用しています。ICNIRP ガイドラインで指定される SAR 限度は、生体組織 10g あたり 2.0W/kg（ワット / キログラム）です。SAR 試験は、すべての試験周波数帯において通常の電話機の操作位置で、認証を受けた最大送信電力で行われます。操作中の電話機の実際の SAR レベルは、その最大値を下回る値となります。これは、ネットワークとの通信に必要最小限の送信電力となるように、電話機が設計されているためです。実際の値は、基地局にどのくらい近い位置にいるか等といった様々な要因によって異なります。本機を耳元で使用した試験の場合、ICNIRP ガイドラインに基づいた SAR の最大値は、0.82W/kg です。デバイスアクセサリやアクセサリの使用により、異なる SAR 値になる場合があります。SAR 値は、各国の報告要件、試験要求事項、およびネットワークの帯域によって異なる場合があります。SAR の追加情報については、www.nokia.com にある製品情報でご覧ください。

索引

数字

文字

E

M

N

P

S

T

W

あ

か

さ